

BBLセミナー プレゼンテーション資料

2011年7月12日

「共用品という思想 - 実践と考察」

後藤芳一

星川安之

より多くの方がより使いやすい製品・サービス
共用品という思想
実践と考察



2011年7月12日

大阪大学 大学院 工学研究科 教授 後藤芳一
財団法人 共用品推進機構 専務理事 星川 安之

ポイント

1. はじめに
2. 実践編
3. 政策・理論編
4. 思想編
5. まとめ

ポイント

1. はじめに
2. **実践編**
3. **政策・理論編**
4. **思想編**
5. **まとめ**

1. より多くの人々が「暮らしやすい社会」とは
2. より多くの人々が使いやすい製品・サービス
共用品・共用サービスについて
3. 共用品・共用サービスを創る
 - ①気づく
 - ②動く
 - ③形にする
 - ④共有する
 - ⑤続ける

1. より多くの人々が「暮らしやすい社会」とは？

障害者権利条約

障害者への差別を禁止し、社会参加を促進する目的、障害者への権利を保障し、平等に参加する権利を確保し、その権利の実現を促進することを目的とする。

前文	第20条 家庭及び家族の尊重
第1条 目的	第21条 教育
第2条 定義	第22条 尊重
第3条 一般原則	第23条 ハビテーション及びリハビリテーション
第4条 平等及び非差別	第24条 労働及び雇用
第5条 障害のある女性	第25条 様々な生活水準及び社会保険
第6条 障害のある児童	第26条 政治生活及び法的経済への参加
第7条 尊重のある児童	第27条 文化及びレクリエーション、スポーツ及びエンターテインメントへの参加
第8条 意識の向上	第28条 統計及びデータ収集
第9条 アウトドアレジャー	第29条 国際協力
第10条 生命の権利	第30条 国籍権及び電子参加
第11条 危険のある状況	第31条 貿易、関税及び輸送
第12条 法の下の平等	第32条 署名
第13条 平等へのアクセス	第33条 署名
第14条 身体的自由及び安全	第34条 署名
第15条 精神又は残虐性、非人間的なもしくは品位を傷つける取り扱い又は侮辱からの自由	第35条 署名
第16条 内戦、暴力及び虐待からの自由	第36条 署名
第17条 人格の完全性の保護	第37条 署名
第18条 移動の自由	第38条 署名
第19条 自主生活及び地域への統合	第39条 署名
第20条 職人のモビリティ	第40条 署名
第21条 表現と意見表明の自由、情報へのアクセス	第41条 署名
第22条 私生活の尊重	第42条 署名

(注：見出しについては暫定訳)



法制度

インフラ

生活道具

人

人

人



共生社会への課題

政府・等

民間

消費者・生活者

参加

能動的参加

- ・気づく
- ・動く
- ・形にする
- ・共有する
- ・続ける

社会的課題

世界情勢

少子高齢化・多様性

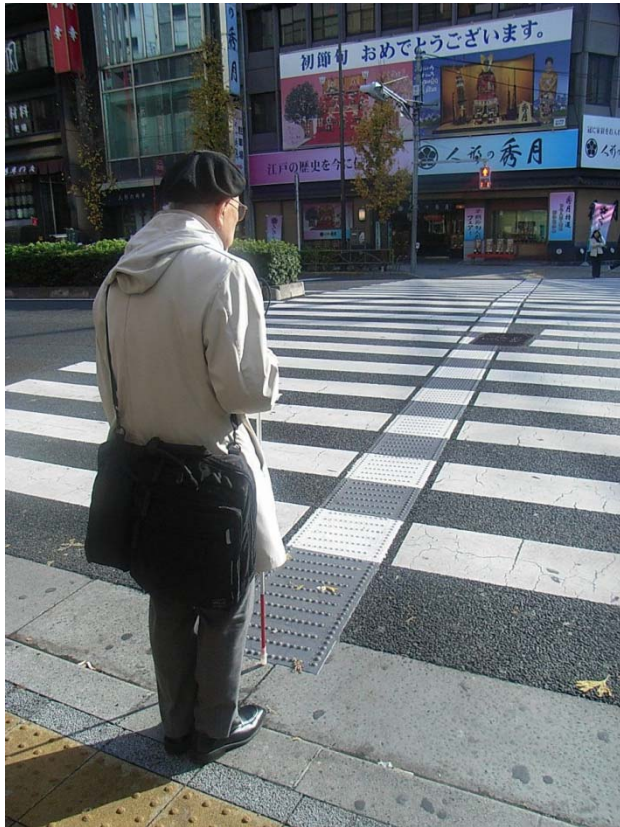
社会倫理問題

将来世代(職場環境の激変)

環境

共生社会

歩道と車道 2センチの段差の意味



2. より多くの人が使しやすい製品・サービス



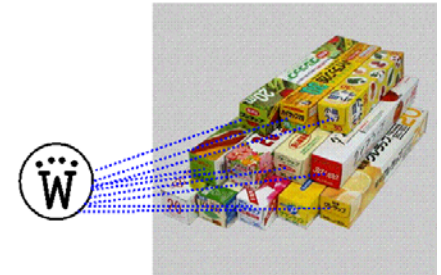
ギザギザ付きシャンプー



牛乳パックの切り欠き



点字付きビール缶



ラップのエンボス加工(W)

海外の共用品例



ギザギザ付きシャンプー
(韓国)

点字付き ビール缶(韓国)



凸点付き ATM(スペイン)

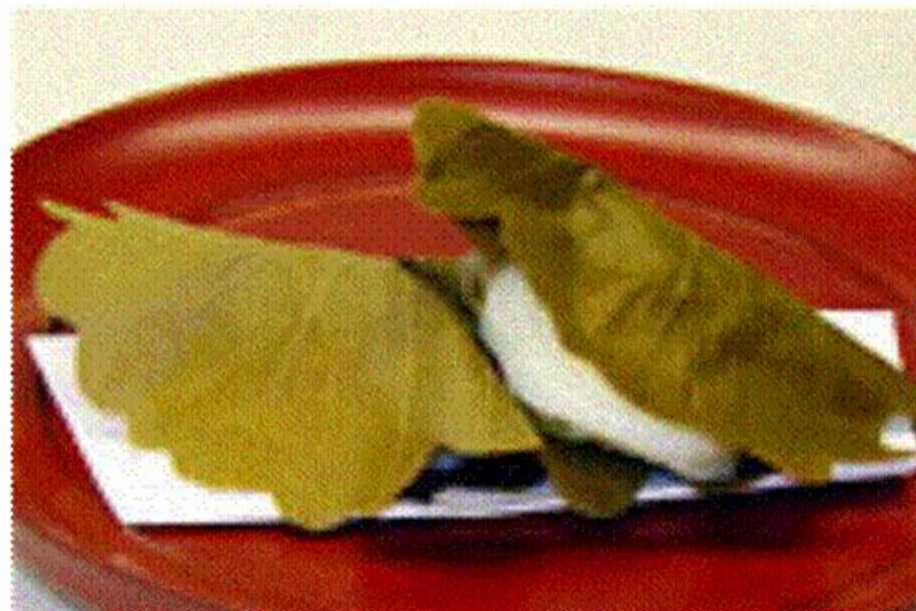
点字付き エレベーター
(スイス)



「肉まん」・「あんまん」の違い

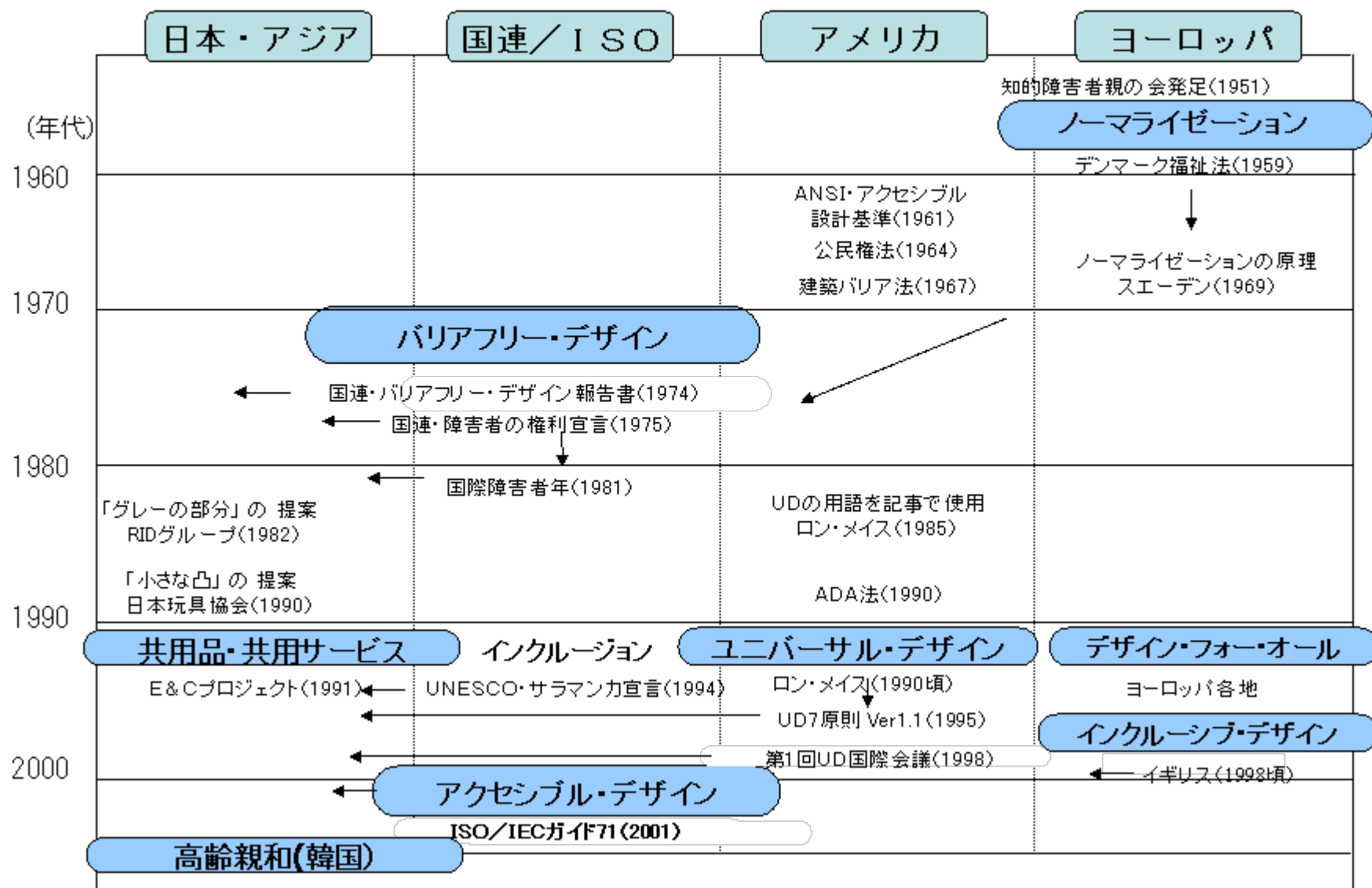


柏もち「こし餡」・「味噌餡」の違い

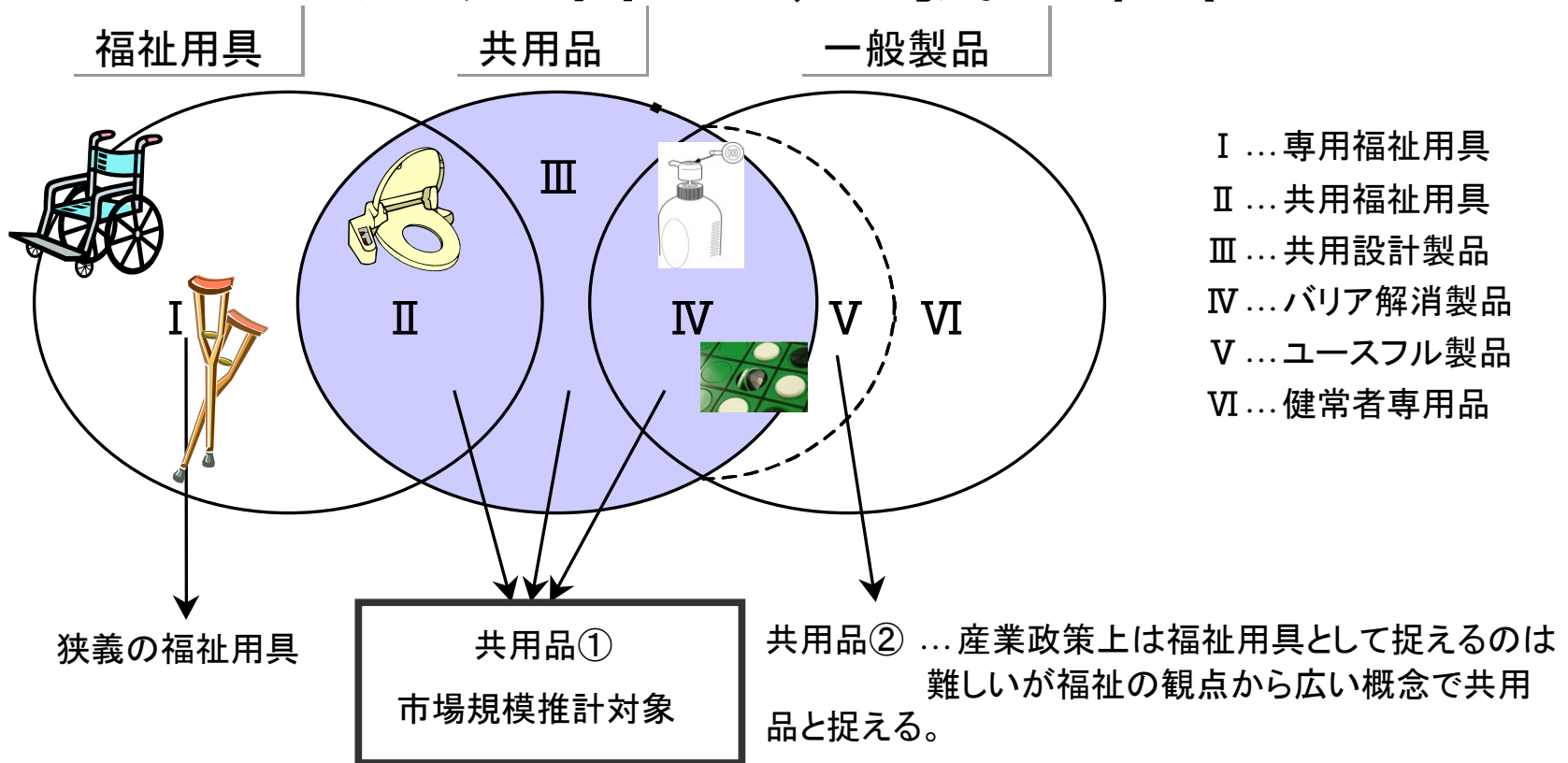


- ・こし餡は葉を表にして包む。
- ・薄黄色の味噌餡は葉の裏が見えるように包む。
- ・古式(守貞漫稿)に則って区別されています。

主要な概念の登場と日本への波及



共用品の定義と範囲



◆定義

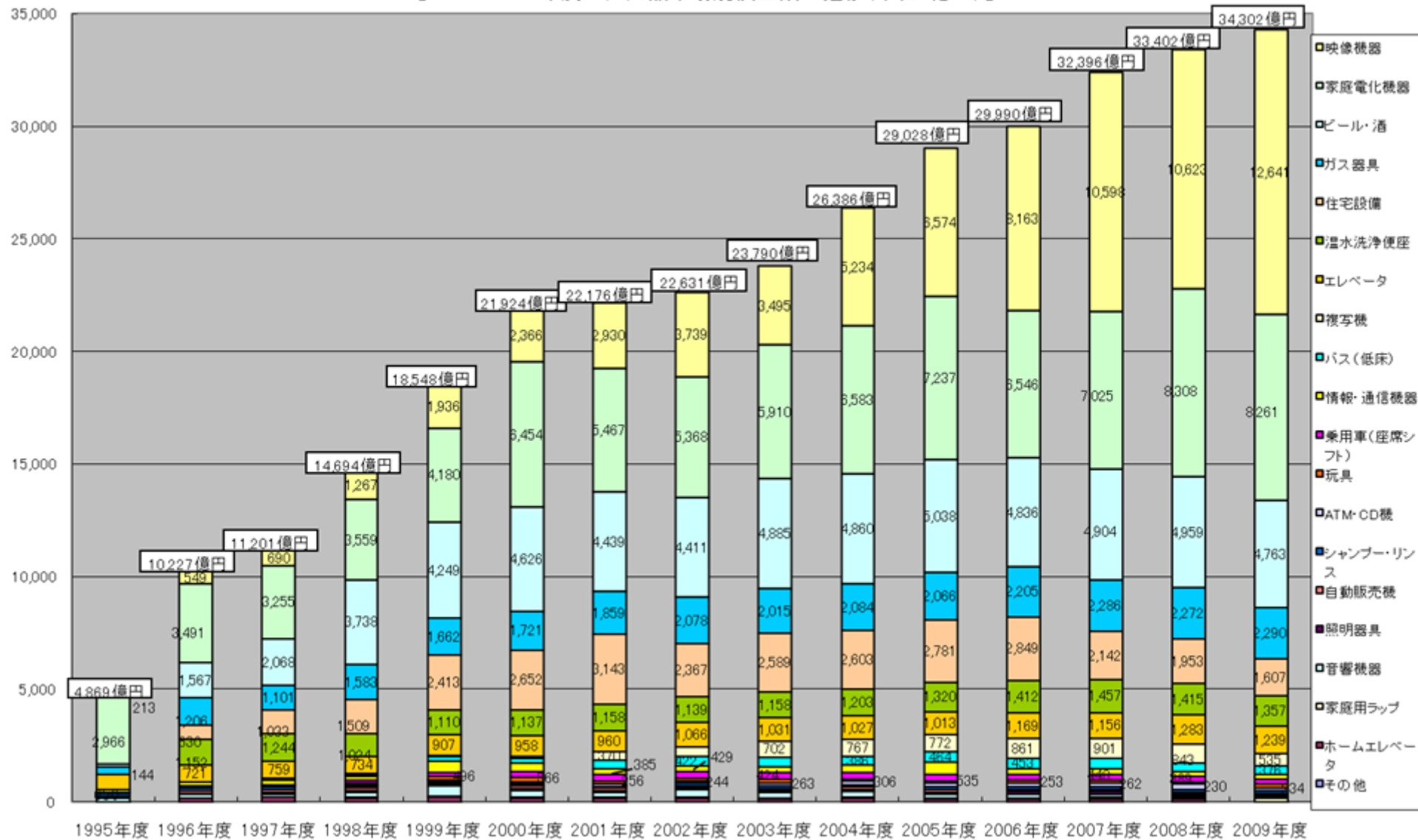
...
 身体的な特性や障害にかかわらず、より多くの人々が共に利用しやすい製品・施設・サービス

◆原則

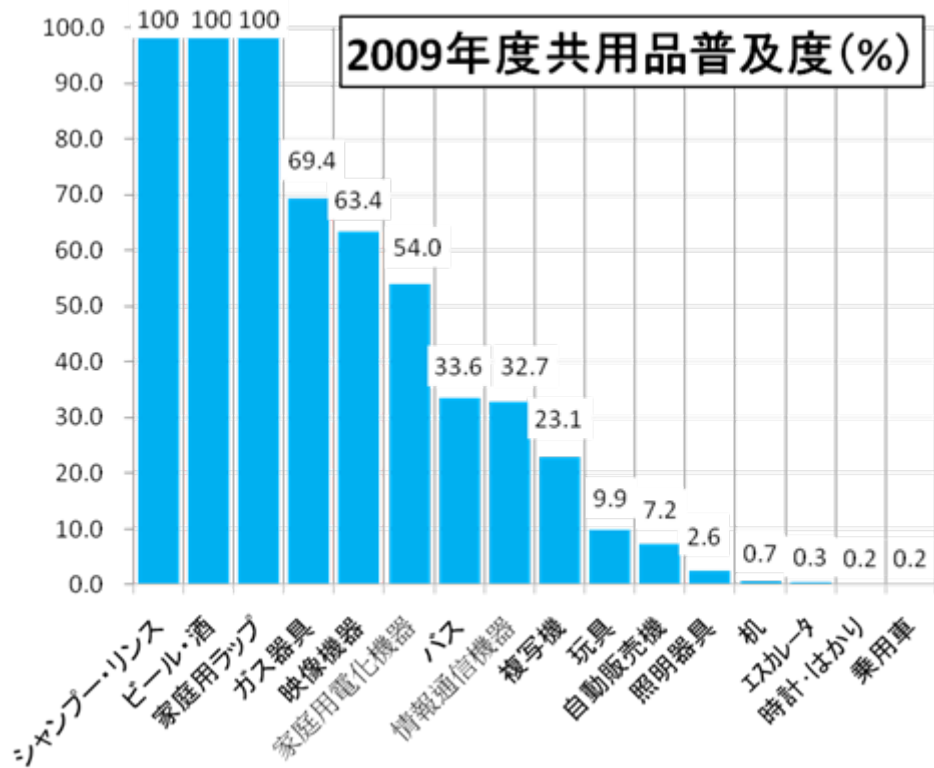
- ・多様な人々の身体・知覚特性に対応しやすい
- ・視覚・聴覚・触覚など複数の方法によりわかりやすくコミュニケーションできる
- ・直感的でわかりやすく、心理的負担が少なく操作・利用できる
- ・素材・構造・機能・手順・環境などが配慮され、安全に利用できる

共用品の市場規模調査

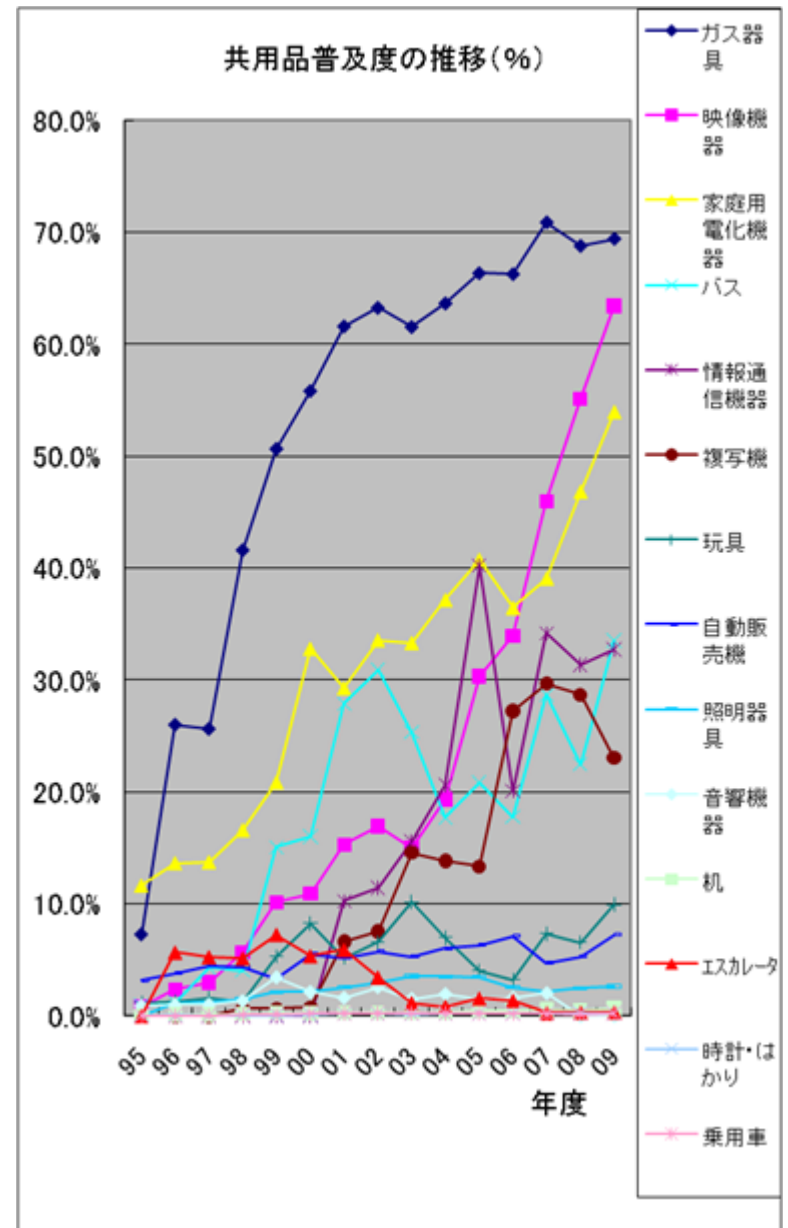
【1995～2009年度の共用品市場規模金額の推移(単位:億円)】



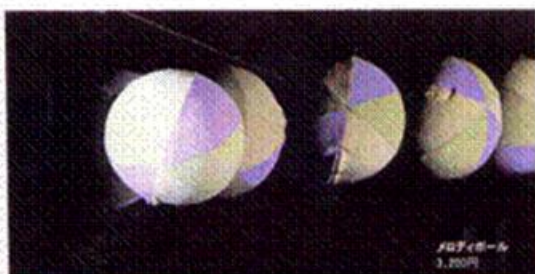
共用品市場高度化調査



「シャンプー&リンス」「ビール酒」「家庭用ラップ」はほぼ100%となっている。「ガス器具」「映像機器」「家庭用電化機器」等が、普及度が50%を超えた水準となっており、配慮点の普及度が高い。一方、「自販機」「照明器具」「机」「ES」「時計・はかり」「車」については調査開始以来10%を下回っている。これは趣味性の高さ、難易度の高さなどの背景があるとみられる。



社会貢献から、事業内組み込みへ



みんなが持てる、タコボール
タコボールは、高齢者が持つことで、認知症の予防効果が期待されています。また、見た目から楽しく使いたいという思いから、子どもにも使ってもらえるように、子ども向けのタコボールも開発しました。これは、認知症予防と子どもの発達を同時にサポートする、新しいタコボールの時代が到来しました。

高齢者が持つことで、認知症の予防効果が期待されています。また、見た目から楽しく使いたいという思いから、子どもにも使ってもらえるように、子ども向けのタコボールも開発しました。これは、認知症予防と子どもの発達を同時にサポートする、新しいタコボールの時代が到来しました。



1999年4月～ 〈財〉共用品推進機構



The Accessible Design Foundation of Japan



専用
社会貢献



事業



販売 6,750 (2,250×3) 550円×1,333発行

●白兔マーク
白兔、白、黒、黄、赤、青、紫の6色、
A型10色、B型10色、
C型10色、D型10色、
E型10色、
F型10色、

●黒犬マーク
黒、白、赤、青、紫の5色、
A型10色、B型10色、
C型10色、D型10色、
E型10色、
F型10色、



共用品推進機構の事業

「不便さ調査」

不便さの調査のデータベース
http://www.jpcohs.org/IC_page/021_01.html#style

「配慮」

「国内標準化」

「国際標準化」

「普及」



「次世代を担う子ども達」へ

3. 共用品・共用サービスを創る

1. 気づく

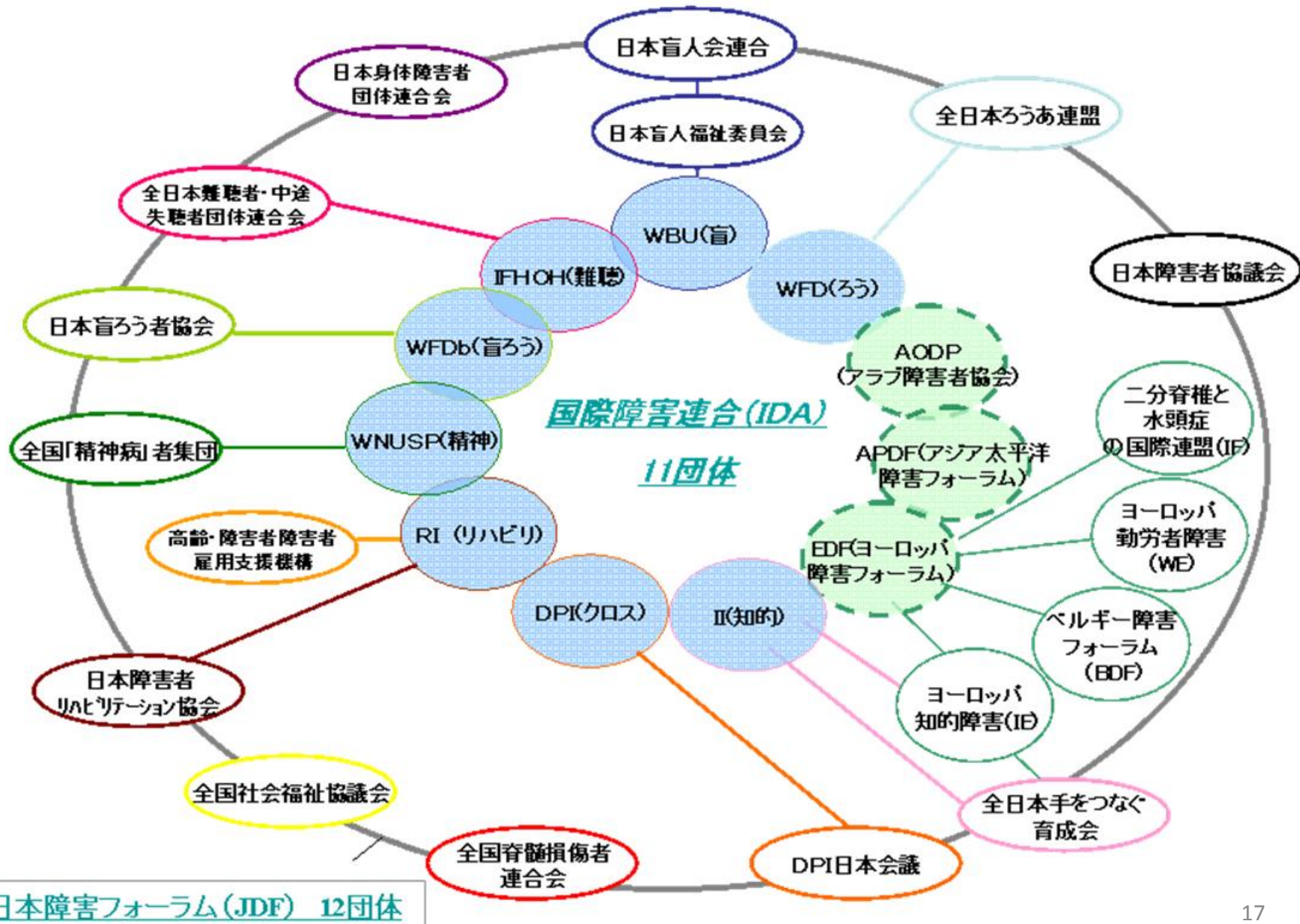
2. 動く

3. 形にする

4. 共有する

5. 続ける

国内外障害者団体



視覚障害



空いているかわからない



自転車が置いてある



どこにあるかわからない



カードの区別がつかない



手紙の区別がつかない



ラベルがわからない

聴覚障害



警告が聞こえない



放送が聞こえない



話しているのに気がつかない



講演会が聞こえない



呼ばれてもわからない



家の中の音が聞こえない

肢体不自由



隙間にはさまる



高いところが良く見えない



ラベルがわからない



拾うのが大変



高くて取れない



テーブルの高さが合わない

高齢者



高く大変



高いものがとれない



お風呂もトイレも寒い



家事が大変



蓋が開かない



使い方が分からない

不 便 さ	法制度	インフラ	生活道具	人
	○	◎		○
	○	◎		○
			◎	○
	○	○		◎

3. 共用品・共用サービスを創る

1. 気づく

2. 動く

3. 形にする

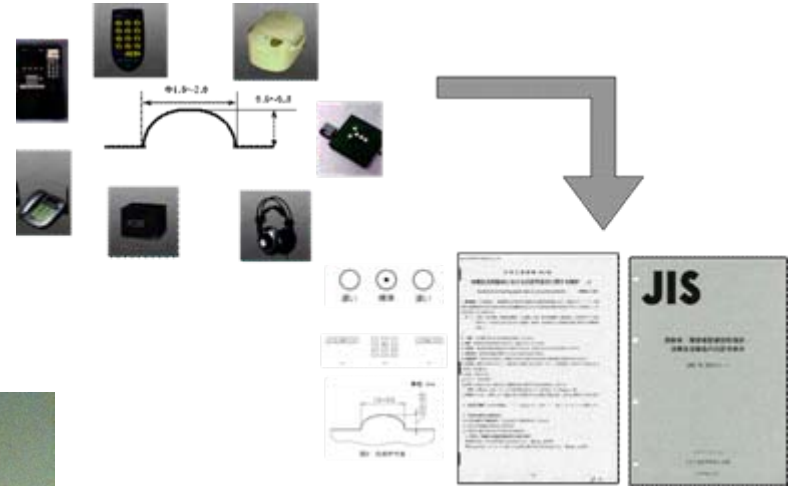
4. 共有する

5. 続ける



洗濯機

凸表示 標準化

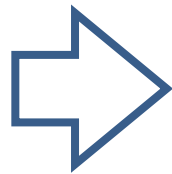


2000年 JIS化
2011年 IS化

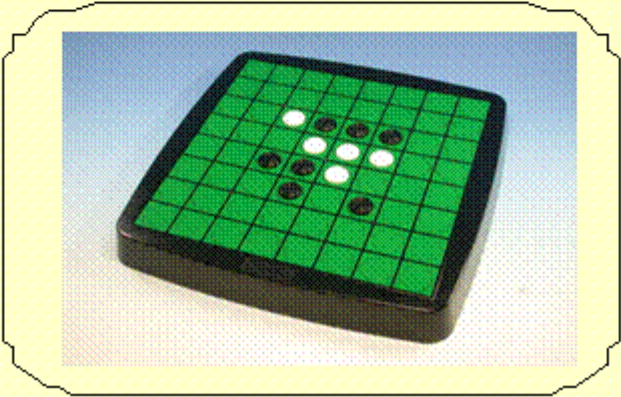
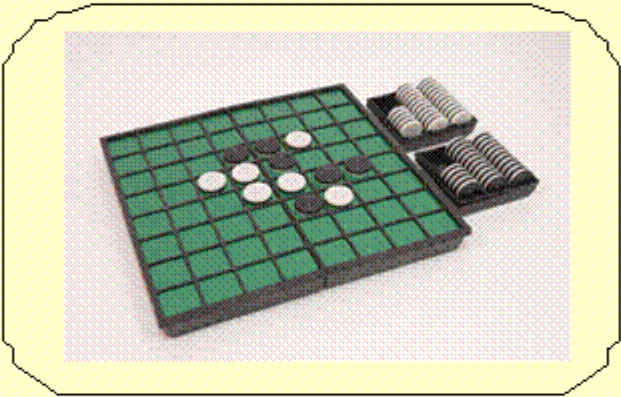
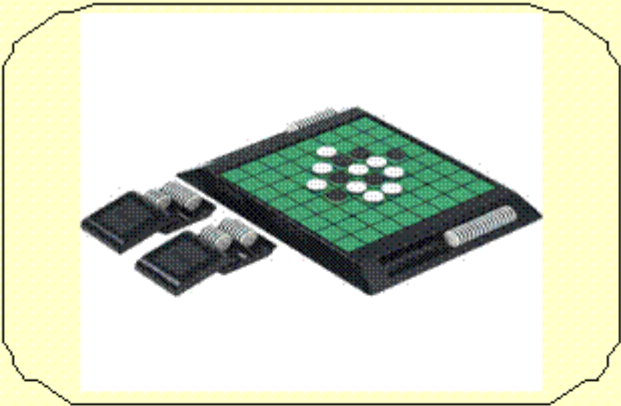
シャンプー容器側面のギザギザ



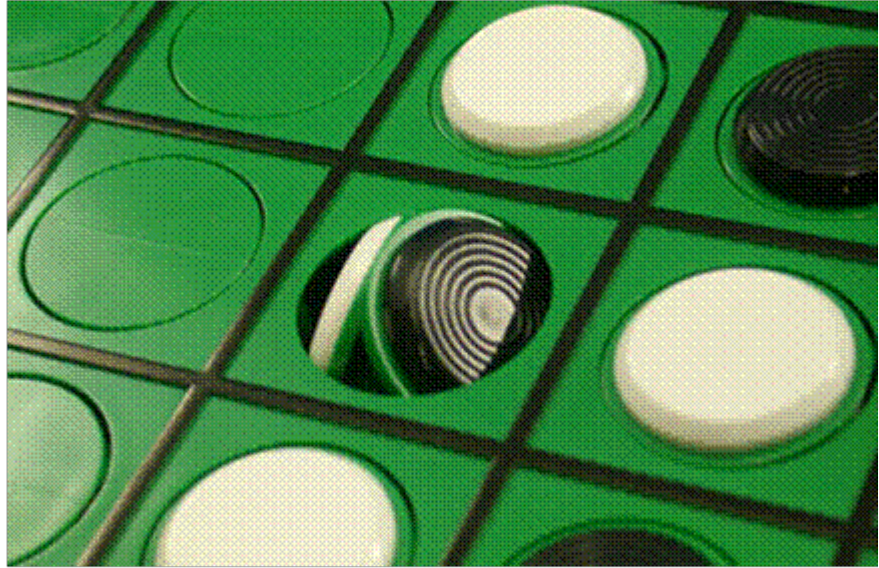
ラベルがわからない



2000年 JIS化
2011年 IS化



色がわからない





TH-P65V1



奥行き 6.7cm(本体のみ)
9.7cm(最大奥行)
41.5cm(据置きスタンド含む)

TH-P54Z1



ディスプレイユニット部



チューナーユニット (同梱)

奥行き 2.5cm(ディスプレイユニットのみ)

NEW TH-P50G2



奥行き 8.8cm(本体のみ)
33.5cm(据置きスタンド含む)



2010年2月より、全ての製品に、操作に関する音声案内付き

今は昔の職業



自分で操作



自動改札



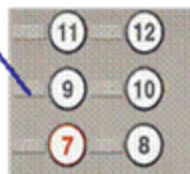
ノンステップバス



エレベータ

1. 階数スイッチの点字表示

★点字表示が、JIS準拠か？



2. 音声で階数表示

★音声が、聞きやすいか？

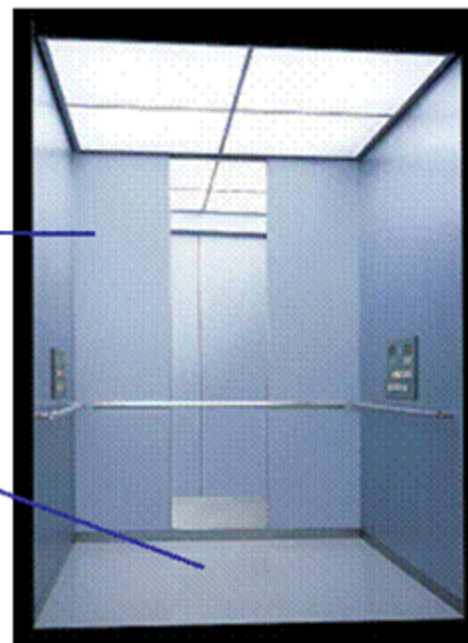
3. 車いす使用者が 操作可能な位置



★介助犬が届く高さか？

★ボタンの前に置物はないか？

★聴覚障害者が外の交信可能か？



バス 448億円 / 1,562億円 28.7% (-1.1%)

4台に1台がノンステップバス(日本)

車いす使用者等が乗降できるような配慮

アナウンス

聞こえるか? 聞きやすいか?

見るか? 見



車いす使用者が 操作可能な位置

操作

届くか? 操作可能か?



100%ノンステップバス(ロンドン)

Public transport in London is becoming more accessible, providing older and disabled people with greater opportunities for independent travel.

The Tube network has a growing number of stations which are step-free from street to platform. Docklands Light Railway (DLR) and London Tramlink in Croydon also provide accessible services. There are also some excellent assisted public transport options such as Dial-a-Ride.

All buses in London are low-floor vehicles and fully accessible to wheelchair users. Plus, all licensed London taxis are also wheelchair accessible.

To help you plan journeys, Transport for London produces a range of guides and maps in alternative formats such as large print, audio and Braille. See opposite for a list of all guides and maps available, plus details on how to order copies.

Tube, river services and accessibility guide

Tube map (audio)

An audio guide to Tube lines, DLR and the London Overground network.

Format: Audio

Tube map (large print colour)

Tube, DLR and London Overground services map in large print for visually impaired people.

Format: Large print

Tube map (large print black and white)

Tube, DLR and London Overground services map in black and white large print for colour blind people.

Format: Large print

Tube station guide (audio)

A guide providing specific information on station facilities for London Underground and DLR stations.

Format: Audio

Step-free Tube Guide

This guide covers the Tube and DLR network showing stations that are step-free between the street and platform, plus information about the step and gap between the platform and train. It also shows where you can change step-free between different Tube lines, and between Tube lines with National Rail services.

Format: Pocket size and large print

shows the location of toilet facilities and baby changing facilities on the Tube network.

Format: A4 (online only)

River Thames boat services

Whether you are planning a trip on the Thames for leisure or business, our comprehensive guide is here to help you plan your journey. It includes a river map, places of interest to visit by boat, fares information, commuter and leisure services, the Woolwich free ferry, local area maps, information on hiring a boat, useful information and contacts.

Format: A5, Large print and audio

Getting around London – your guide to accessibility

This guide explains how to use each mode of public transport, one by one. It also includes information on Freedom Pass, a scheme that allows free travel around London for people over 60 and eligible disabled people. Also included are full explanations of Journey Planner and the Interactive Journey Map, both on the Transport for London website. There are also links to Tube-specific information on the Direct Enquiries and Describe Online websites which can help you to plan journeys which meet your access needs.

Format: Online only



共用品データベース(DB)ウェブサイト



高コントラスト



テキスト版



製品情報 - テルミ(手で見る学習点字絵本) < 年6回、偶数月1日発売 >

日本児童教育振興財団 テルミ(手で見る学習点字絵本) < 年6回、偶数月1日発売 >

[製品型番: -]



製品情報
 希望小売価格: 400円(税込)
 製品のカテゴリ: 学習 参考書 CD DVD
 該当する身体の特長:
 該当する生活シーン:
 [お問、合わせ先]
 電話: 03-5280-1501
 ファックス: 03-5280-1503
 e-mail: info@faje.or.jp

製品概要
 特徴: 宛注インキの凸になった線絵と点字、墨字の併記で、暗眼者と視覚障害者がいっしょに楽しめる絵本。
 隔月刊(偶数月、1日発売)で発行している。
 サイズ: 200mm(幅)×280mm(高さ)×5mm(奥行き)
 重量: 100g

企業情報
 所在地: 東京都千代田区猿樂町2-5-4 OGAビル8
 電話番号: 03-5280-1501

3. 共用品・共用サービスを創る

1. 気づく

2. 動く

3. 形にする

4. 共有する

5. 続ける

ISOの機構図

管理部門

総会

中央事務局

適合性評価委員会(CASCO)
発展途上国対策委員会(DEVCO)
情報システム及びサービス委員会(INFCO)
消費者政策委員会(COPOLCO)

理事会
技術管理評議会

専門委員会(TC)
分化委員会(SC)
作業グループ(WG)

ISO/IECガイド71

(高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作成配慮指針)



2001年11月 ISO/IEC Guide71

2001年11月～ EU.イタリア・スペイン・ドイツ・韓国・他

2003年6月 JIS Z 8071

2011年9月～ ISO/IEC Guide71改定作業



高齢者・障害者配慮設計指針

2011年7月12日 現在

NO	高齢者・障害者配慮設計指針 2011-06-07
	基本規格
1	JIS Z 8071 高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作製指針
	視覚的配慮
2	JIS S 0031 視覚表示物一年切相対輝度の求め方及び評価方法
3	JIS S 0032 視覚表示物—日本語文字の最小可読文字サイズ推定方法
4	JIS S 0033 視覚表示物—年輪を考慮した基本色領域と基色色の組合せ方法
	触覚的配慮
5	JIS S 0011 消費生活製品の凸記号表示
6	JIS S 0052 触覚情報—触覚図形の基本記号方法
7	JIS T 0921 点字の表示原則及び点字表示方法—公共施設設備
8	JIS T 0922 触覚案内図の簡便内容及び形状並びにその表示方法
9	JIS T 0923 点字の表示原則及び点字表示方法—消費生活製品の操作部(2009)
10	JIS T 9253 紫外線照射検出器の点字—品質及び点検方法
11	JIS X 6310 プラペイトカード—一般原則
	聴覚的配慮
12	JIS S 0013 消費生活製品の振動
13	JIS S 0014 消費生活製品の振動—妨害音及び聴覚的加振を考慮した音圧レベル
	包装容器
14	JIS S 0021 包装容器
15	JIS S 0022 包装容器—開閉性検査方法
16	JIS S 0022-3 包装容器—触覚識別表示
17	JIS S 0022-4 包装容器—使用性評価方法
18	JIS S 0025 包装容器—危険の凸警告表示—要求事項

	消費生活製品
19	JIS S 0012 消費生活製品の操作性
20	JIS S 0023 衣料品
21	JIS S 0023-2 衣料品—ボタの形状及び使用法
	情報通信
22	JIS X 8341-1 情報通信における機器ソフトウェア及びサービス—第部 共通指針
23	JIS X 8341-2 情報通信における機器ソフトウェア及びサービス—第部 情報処理装置
24	JIS X 8341-3 情報通信における機器ソフトウェア及びサービス—第部 ウェブコンテンツ
25	JIS X 8341-4 情報通信における機器ソフトウェア及びサービス—第部 電気通信機器
26	JIS X 8341-5 情報通信における機器ソフトウェア及びサービス—第部 事務機器
	施設設備
27	JIS S 0024 住宅設備機器
28	JIS S 0026 公共トイレにおける更衣内操作部の形状・色・配置及び器具の配置
29	JIS S 0041 自動販売機の操作性
30	JIS T 0901 視覚障害者の移行種別別音声案内による支援システム指針
31	JIS T 9251 視覚障害者専用ブロック等の突起の形状寸法及びその取扱い
	コミュニケーション
32	JIS S 0042 アクセシビリティ
33	JIS T 0103 コミュニケーション支援用絵図デザイン原則

①情報・表示

点字の併記
複数の代替情報

文字の大きさ
背景とのコントラスト

わかりやすいパッケージ
Readily identified package
알기쉬운 패키지

ルビ、他言語
図記号・触図

共用品 共用品
共用品 共用品

②包装容器

点字の併記
片手操作

触覚情報
開封・再封

文字の大きさ
持ちやすさ

⑤操作性

JIS

凸表示

JIS

報知音

表1 動作確認時のON/OFFパターン

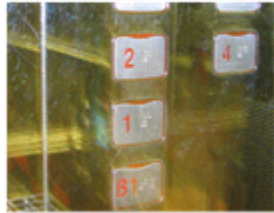
区分	パターン	種別	ON時間	OFF時間
実行・スタート音	ON	報知音 (1回)	3.1~0.15	—
停止音	ON	報知音 (1回)	0.5~0.6	—
高低音	ON1 ON2 OFF	報知音音 (1回)	0.08~0.075	0.025~0.075

備考 ON1~ON2 ON2/OFF



公共施設・設備への点字の表示原則及び点字表示方法

各国で異なるエレベーターの点字表示



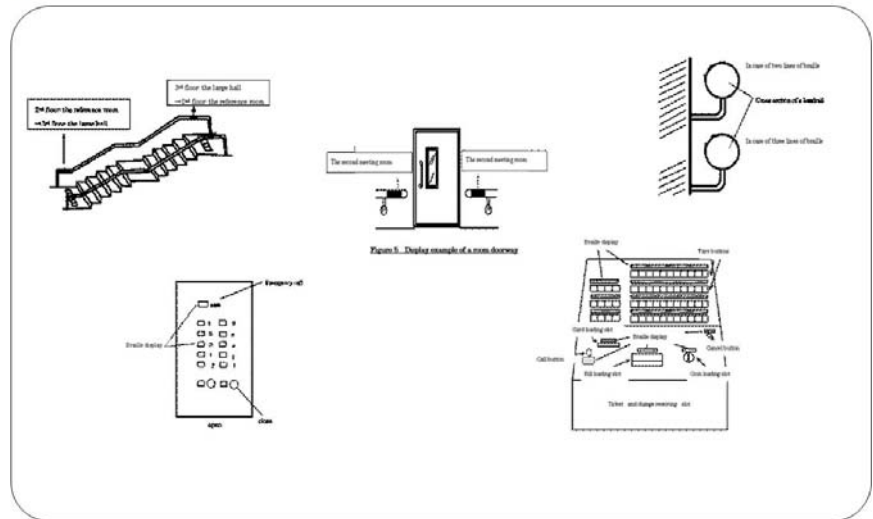
(韓国)



(スペイン)



(スイス:ISO本部)



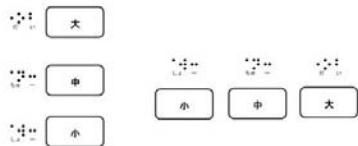
<TC173/SC7への申請

テーマ2: 消費生活製品の点字の表示原則及び点字表示方法

home electric appliances
sanitary equipment
combustion equipment
housing facilities
telecommunication equipment
office equipment
measuring equipment
electric toys



the arrangement of operational buttons



matters to consider in case of using abbreviations

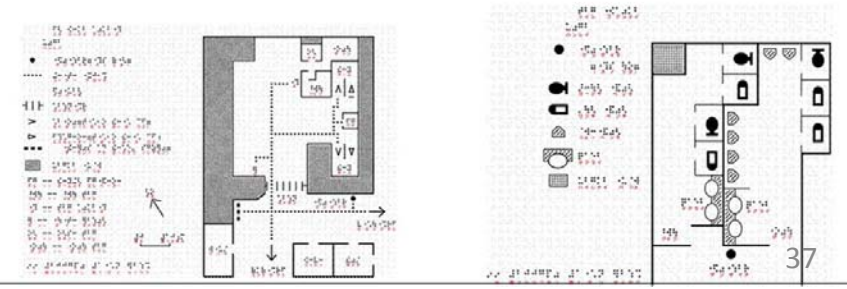
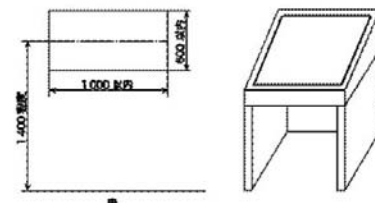
略字	かな表記	略称	点字読み	点字表記
ロック解除	ろくくがけいじょ	かぎこ	カギコ	⠠⠠⠠⠠
お預かりおけ	おこのみおしおけ	しおけ	シオケ	⠠⠠⠠⠠
略字	かな表記	漢字した文字	点字読み	点字表記
掛け物	あけもの	あけ	アケ	⠠⠠⠠⠠
緊急	きんきゅう	きゅう	キュー	⠠⠠⠠⠠
略字	かな表記	省略した略称	点字読み	点字表記
技術・スタート	すいぽん・スタート	たく(決)ク	タク	⠠⠠⠠⠠
洗浄	せんじょう	あらい(洗)り	アラ	⠠⠠⠠⠠

an example to hinder reading braille



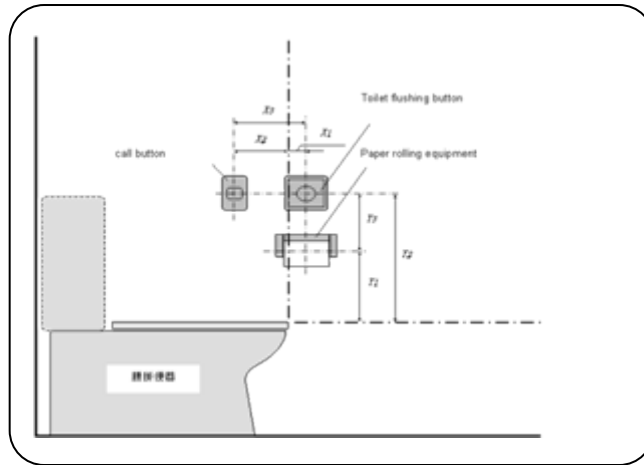
<TC173/SC7への申請>

触知案内図の情報内容及び形状並びにその表示方法

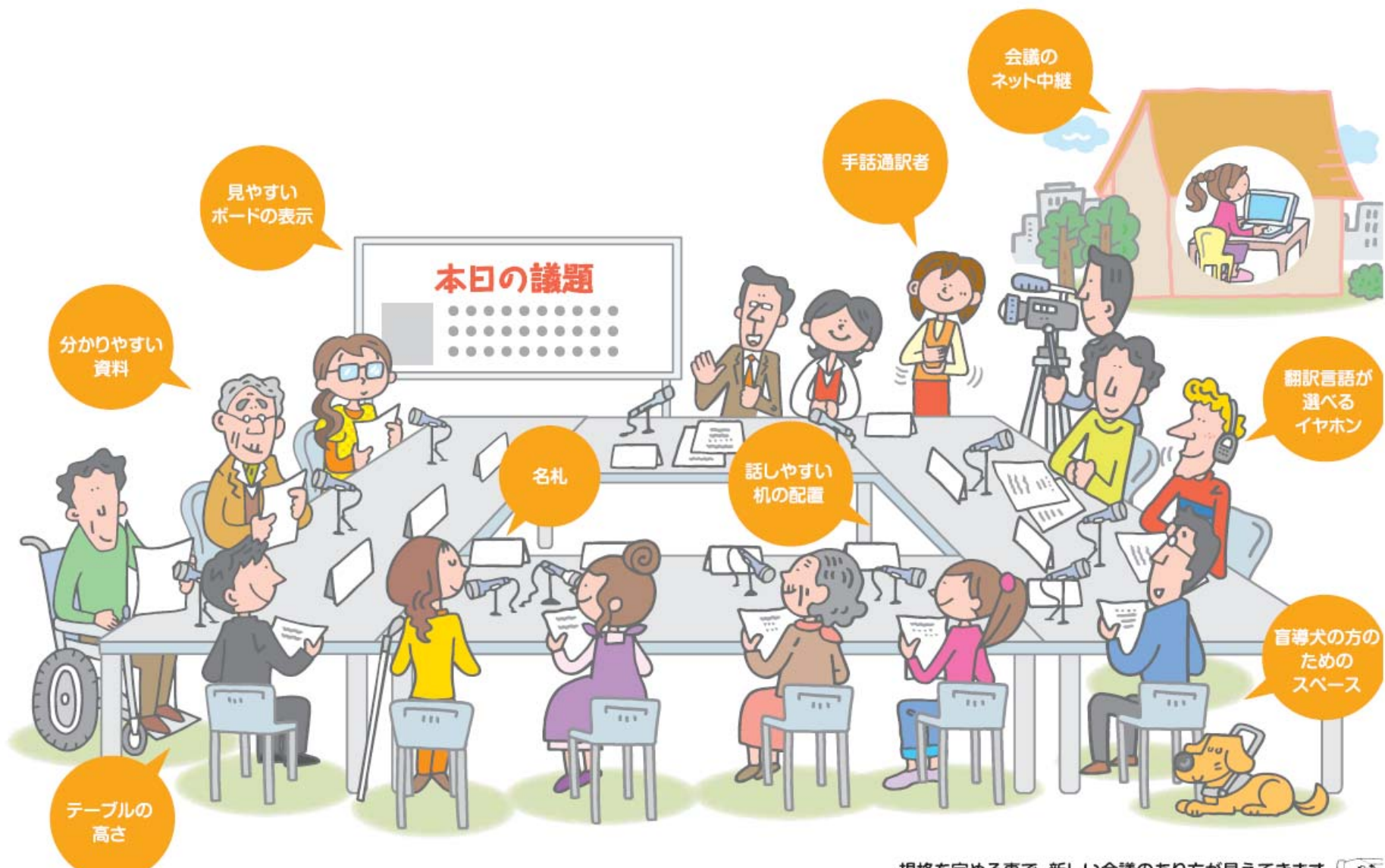


<TC173/NEW SC7/WG1 視覚障害のためのAD への提案>

テーマ4: 公共トイレにおける便棒内操作部の形状・色・配置



アクセシブルミーティング

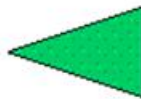


バリアフリーサービス マニュアル

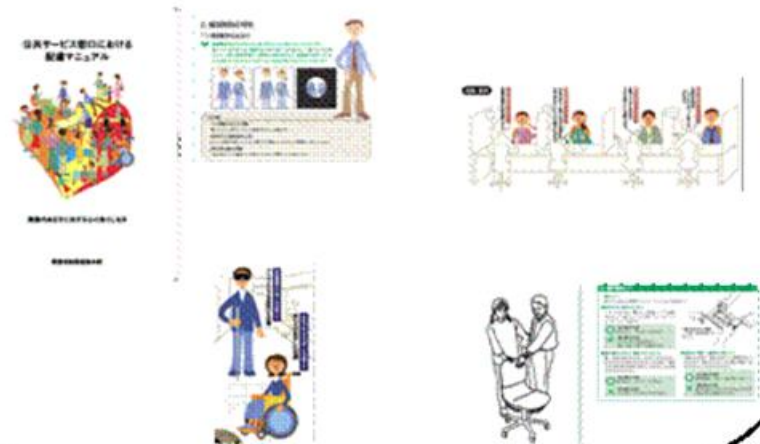


目次

1. 対応の基本
2. 障害種別の特徴
3. 対応における配慮
4. 緊急時の対応
5. 身体障害者補助犬について
6. 参考資料



公共サービス窓口における 配慮マニュアル 障害のある方に対する心の身だしなみ



愛・地球博
(長久手・瀬戸日本館)



■現地バリアフリー研修



■マニュアル



Expo Zaragoza 2008



■現地バリアフリー研修



■マニュアル



より良い都市、より良い生活

中国2010年上海万国博覧会



日時：2010年5月1日-10月31日
場所：上海市都心部
会場面積（観覧エリア）：328ha
参加国・機関（目標）：200
入場者数（目標）：7,000万人

■国内バリアフリー研修2010年3月



■現地バリアフリー研修2010年4月



■マニュアル



国際標準化デー2010

World Standards Day

日時:2010年11月

場所:ジュネーブ

主催:ISO/IEC/ITU



ISO/IEC/ITU WSC(World standards cooperation) ワークショップでの決議

1. WSCの組織内にアクセシビリティの戦略的グループの設立
2. WSC組織での共通なアクセシビリティの方針の作成
3. 障害当事者が国際標準化会議への参加を推奨
4. 国連障害者権利条約への関連を深め、障害者団体との連携を確立
5. ガイド71の改定
6. NWIP(新規規格提案)の提案書類でのアクセシビリティチェック

3. 共用品・共用サービスを創る

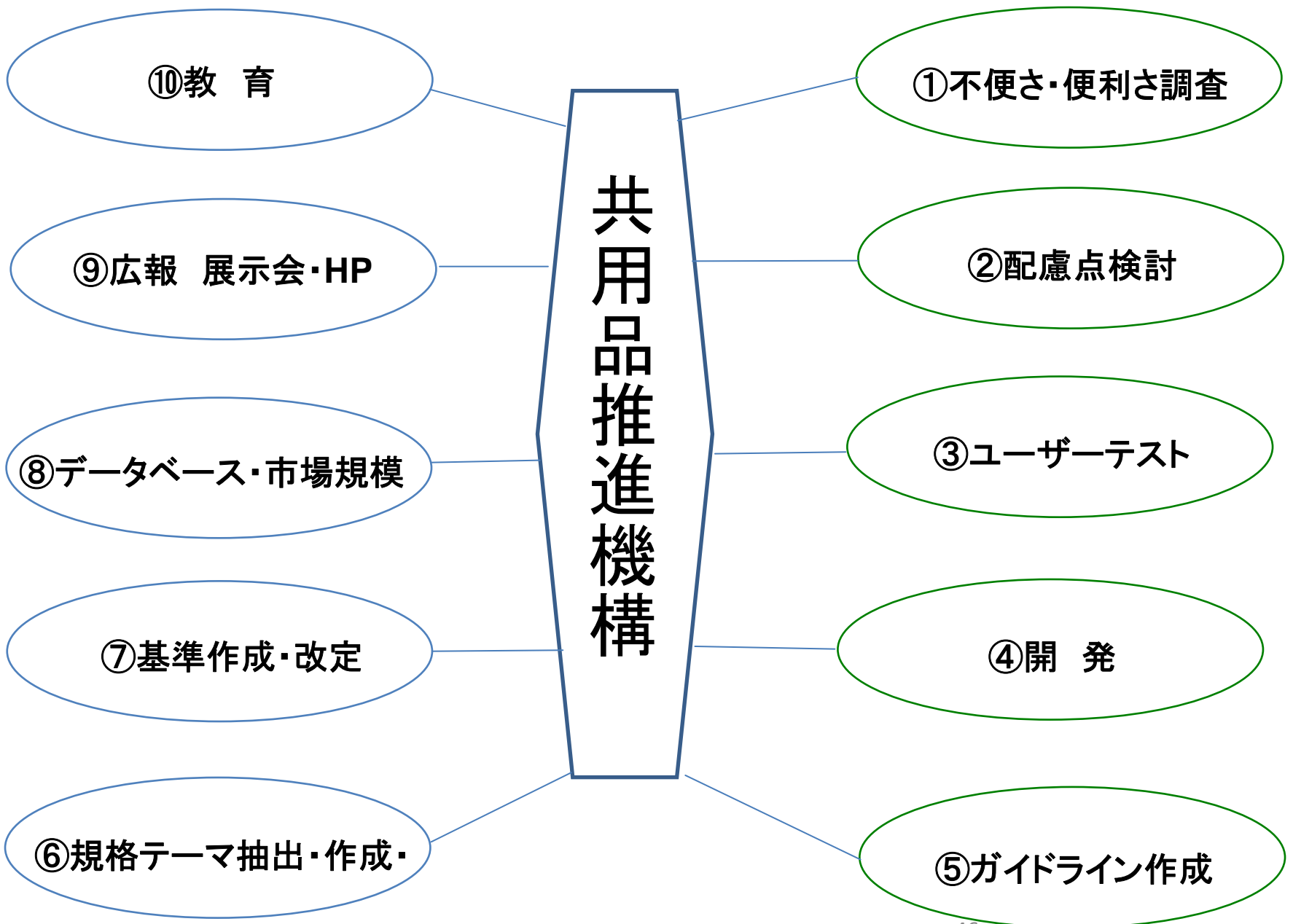
1. 気づく

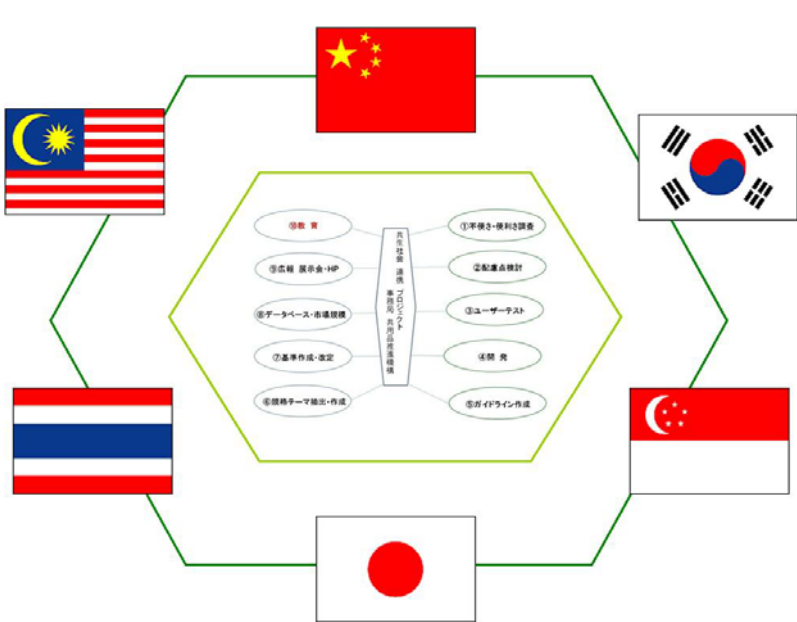
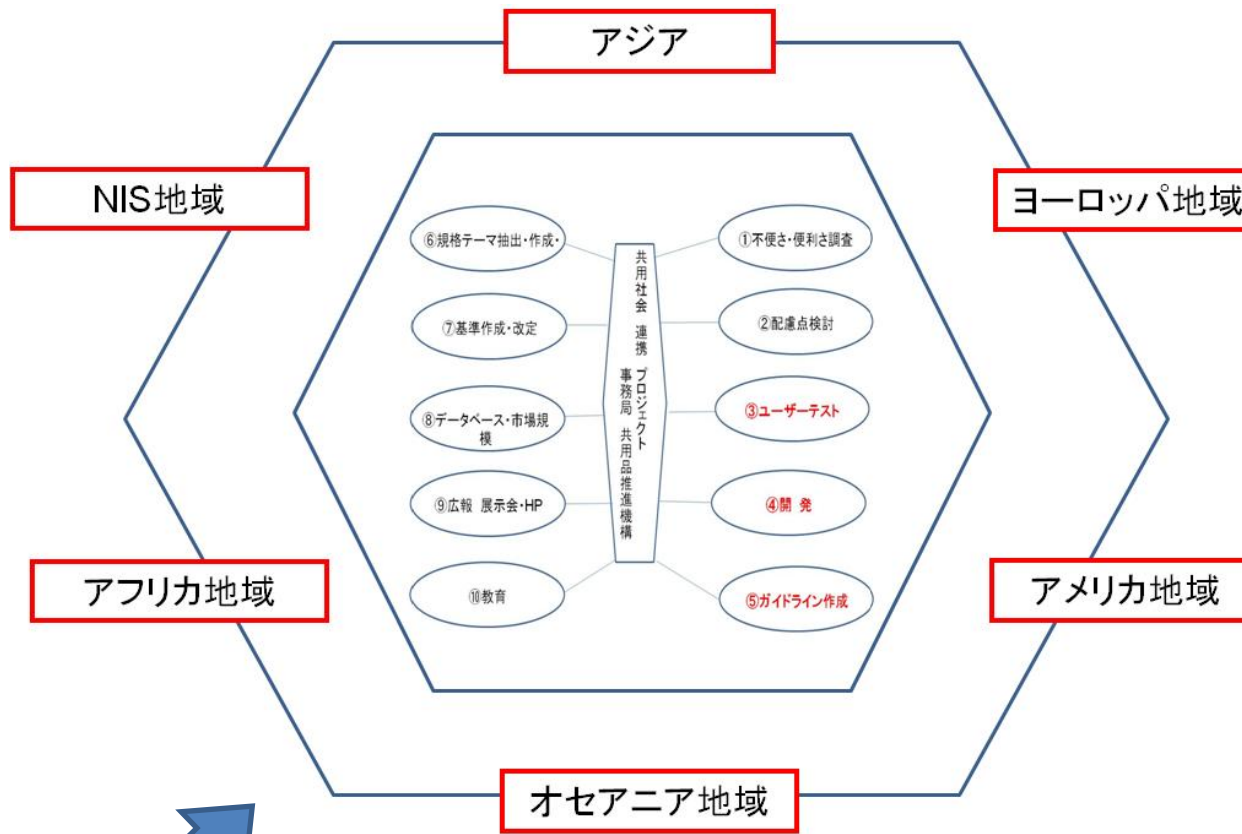
2. 動く

3. 形にする

4. 共有する

5. 続ける

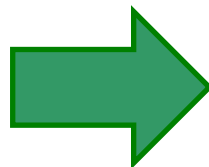




1. 法律

0 →

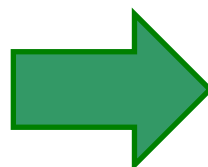
1



2. 共通規格

31 →

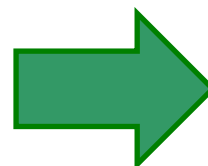
50



3. 製品・サービス規格

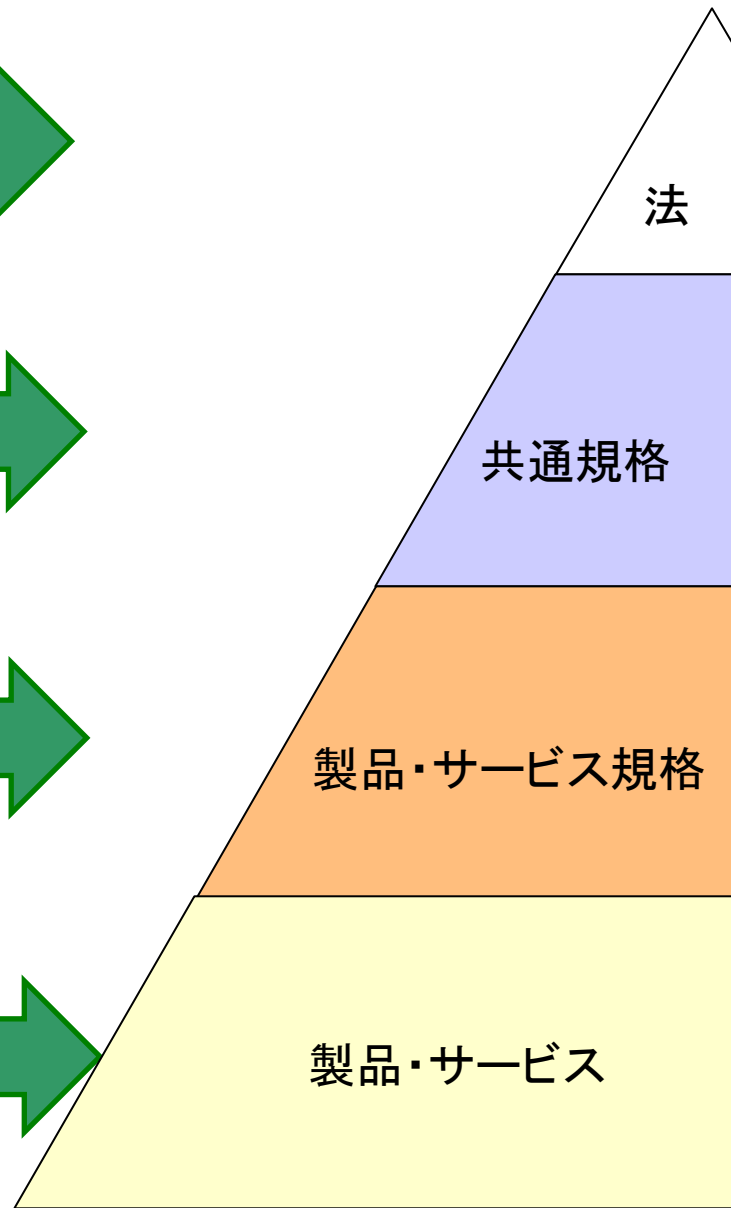
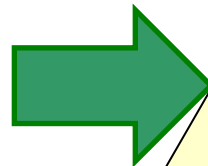
2 →

500



4. 市場規模

3兆3000億円 → 10兆円



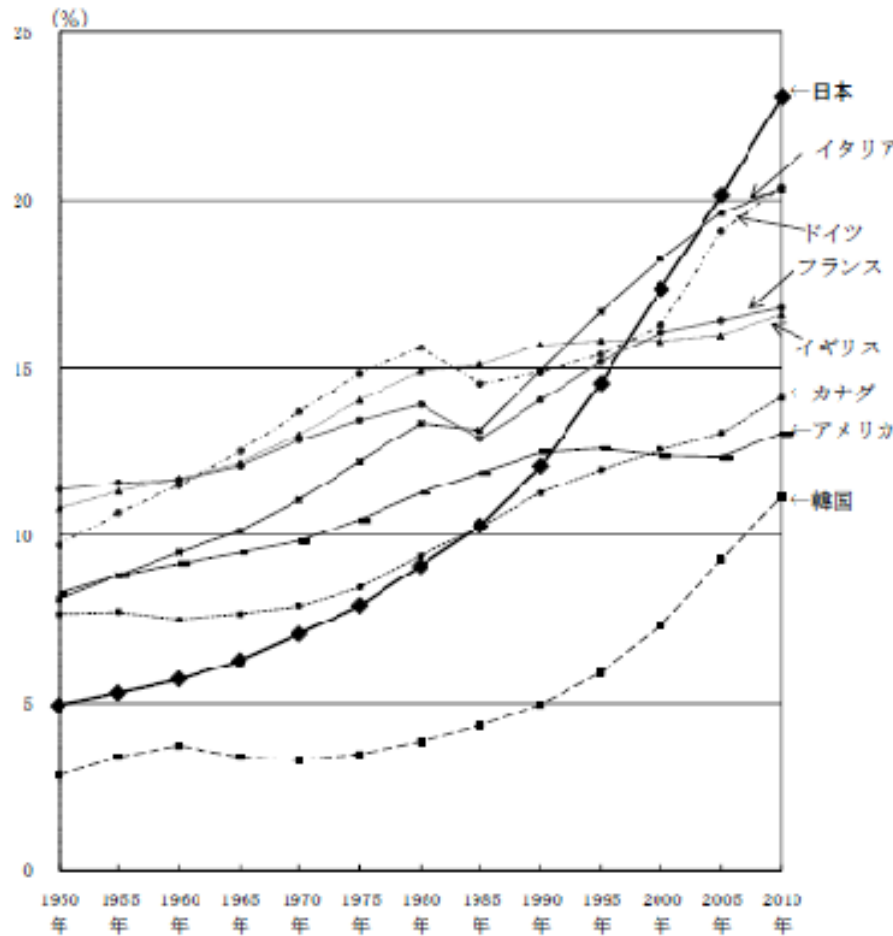
ポイント

1. はじめに
2. 実践編
3. **政策・理論編**
4. 思想編
5. まとめ

○ 65歳以上人口の割合は世界で最も高い水準

- ・ 総人口に占める65歳以上人口の割合を諸外国と比べると、我が国はイタリア及びドイツ（共に20.4%）を上回り、世界で最も高い水準

65歳以上人口の割合の推移—諸外国との比較（1950年～2010年）



資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。
ただし、日本は国勢調査の結果による。

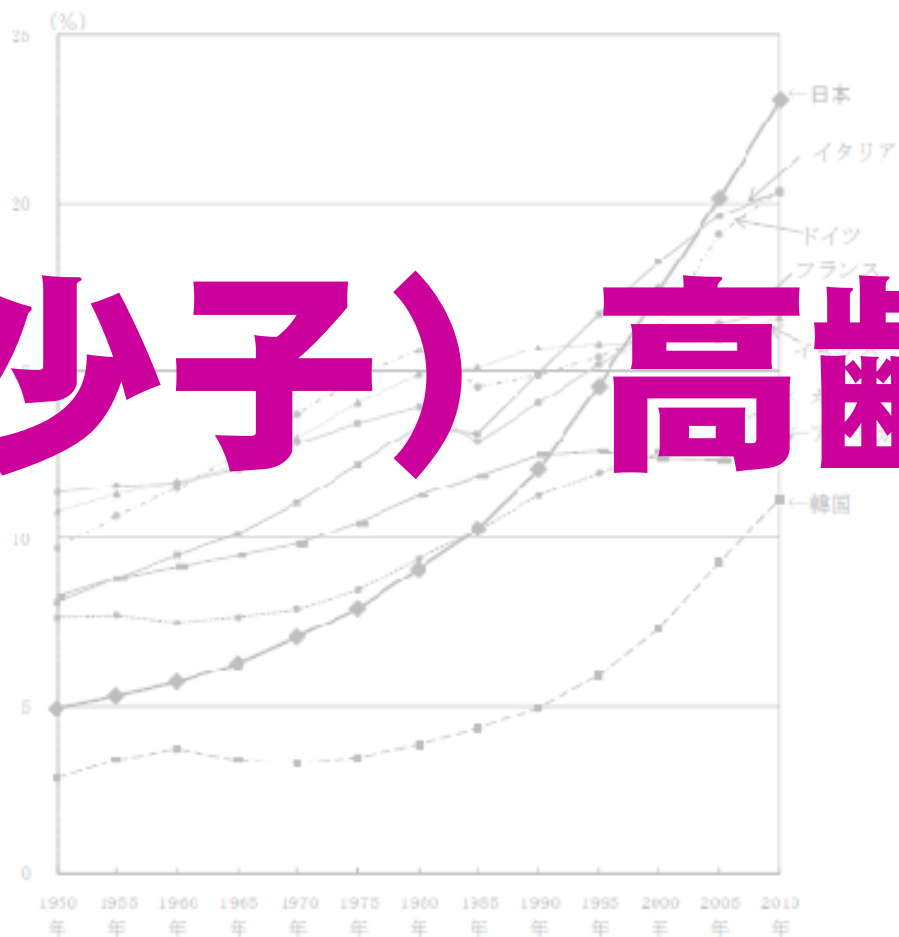
高齢者数(65歳以上人口)
2567→2929万人
(+362万人)

高齢化率
20.2→23.1%

○ 65歳以上人口の割合は世界で最も高い水準

- ・ 総人口に占める65歳以上人口の割合を諸外国と比べると、我が国はイタリア及びドイツ（共に20.4%）を上回り、世界で最も高い水準

65歳以上人口の割合の推移—諸外国との比較（1950年～2010年）

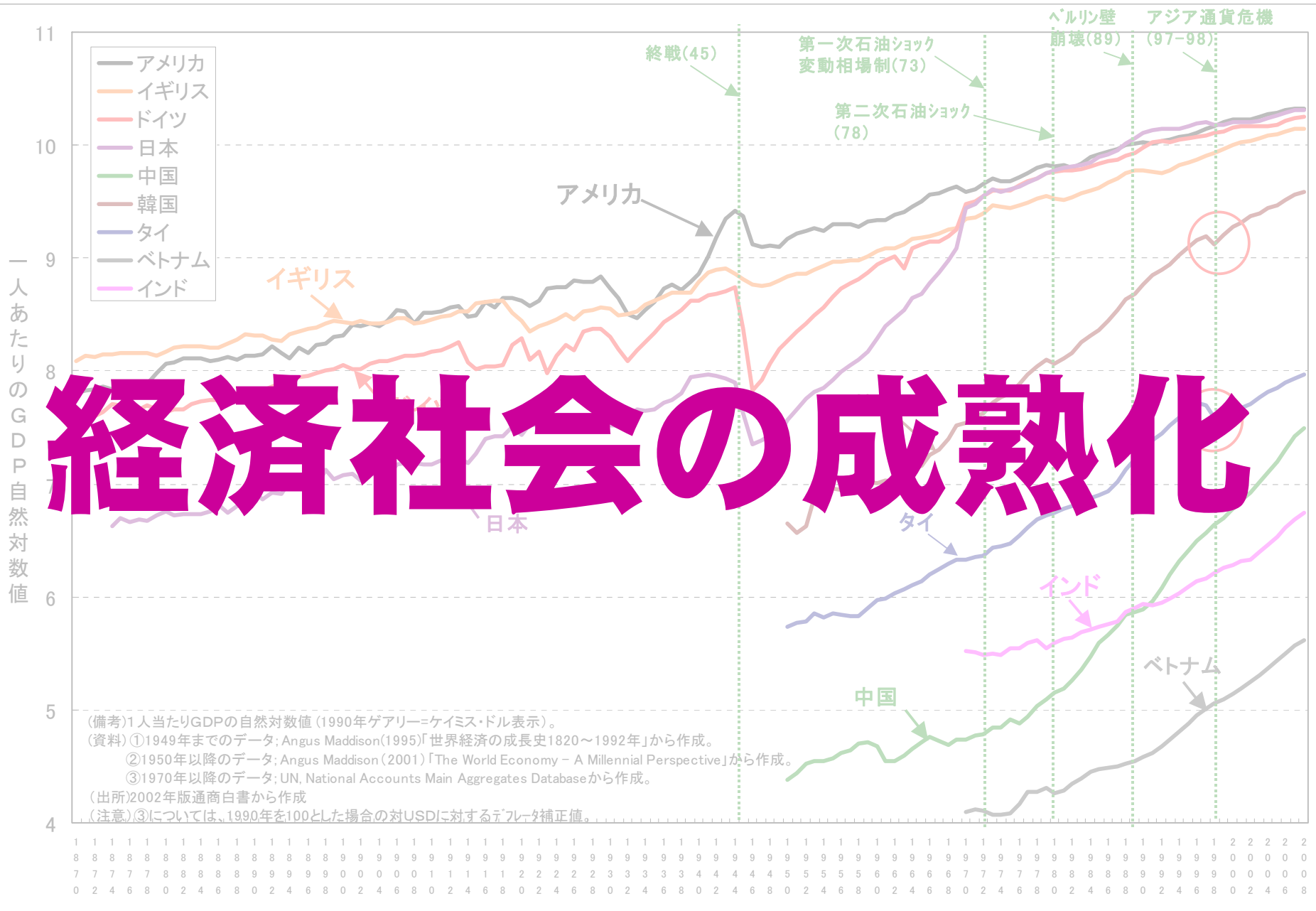


高齢者数(65歳以上人口)
2567→2929万人
(+362万人)

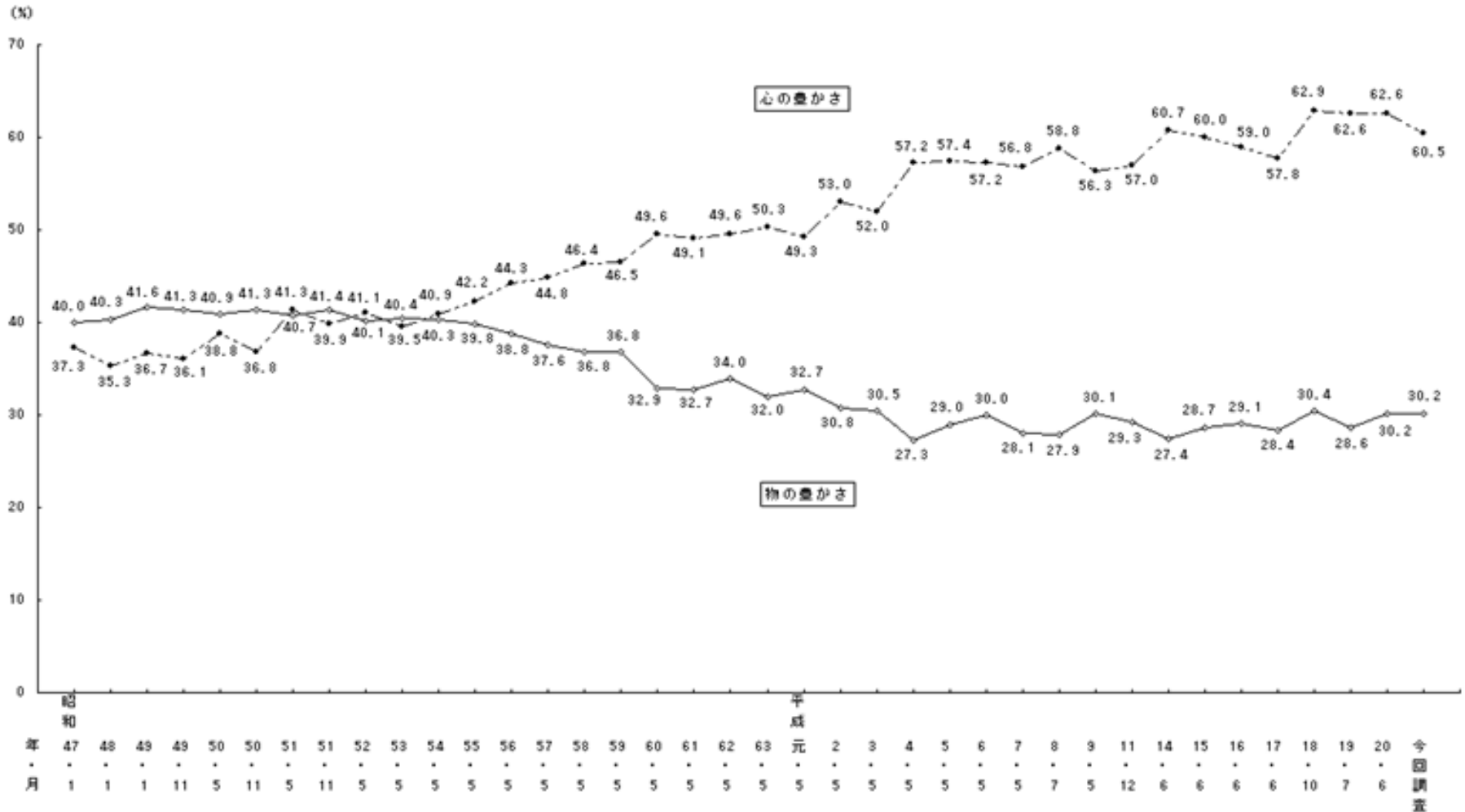
(少子) 高齢化 20.2%→23.1%

資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。
ただし、日本は国勢調査の結果による。

今月の図: 1人あたりGDPの各国比較と、推移(1870-2008年)



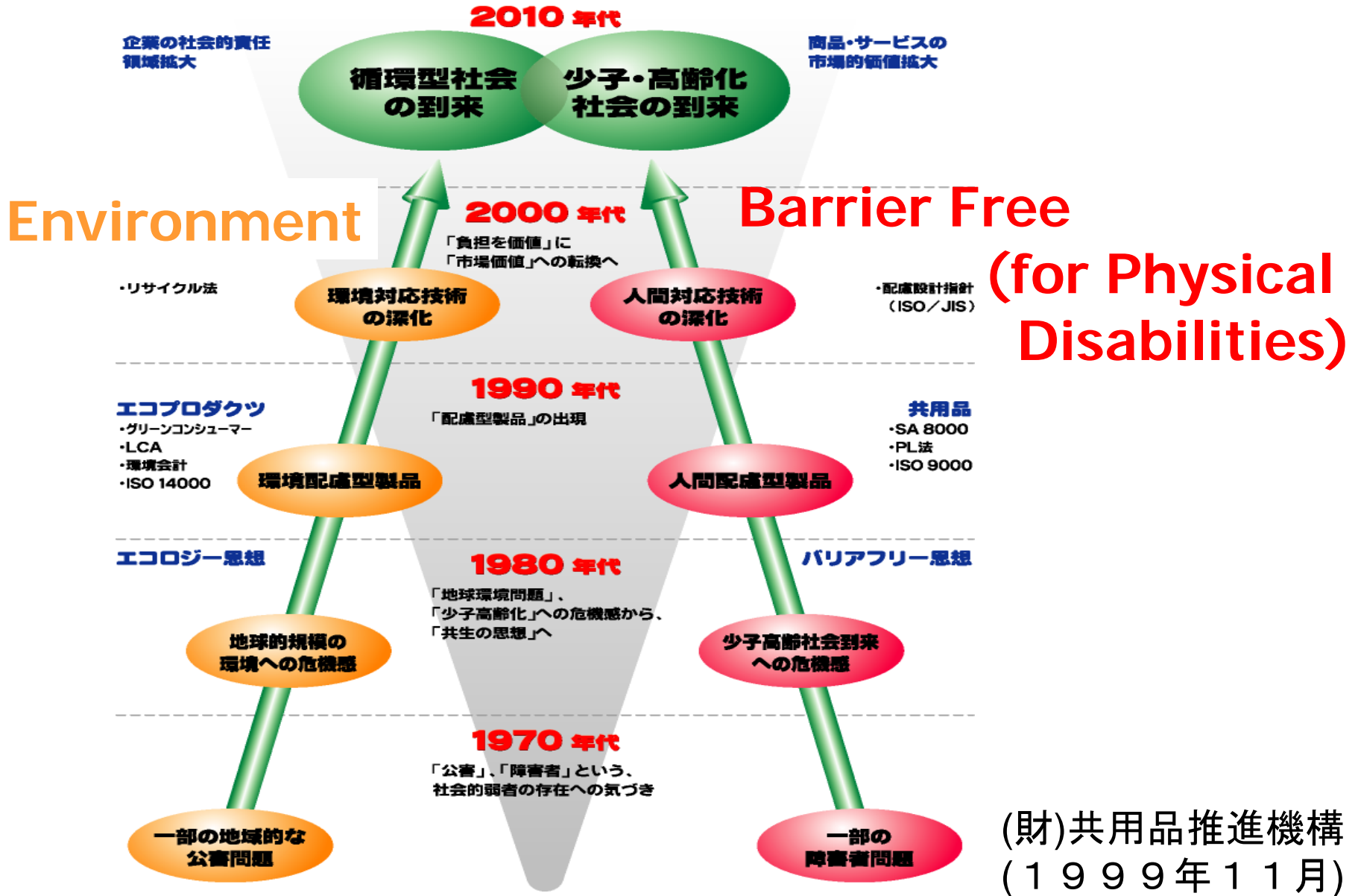
今月の図：国民意識の変化 ー求める豊かさは、モノか心かー



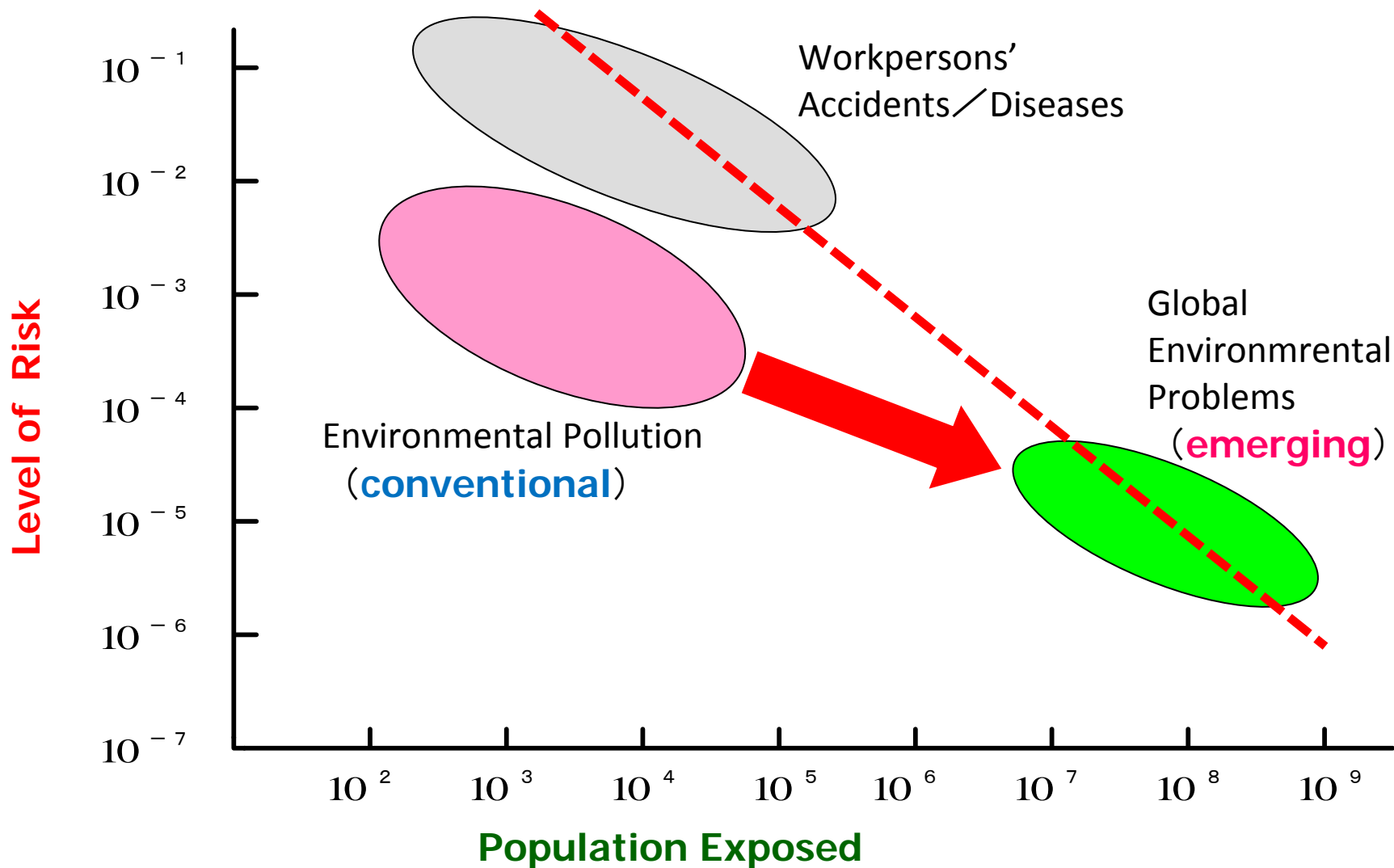
(注) 心の豊かさ → 「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい」
 物の豊かさ → 「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」

出典：「国民生活に関する世論調査」(平成21年6月、内閣府大臣官房政府広報室)のうち
 「2 調査結果の概要、2. 今後の生活について、(3) これからは心の豊かさか、まだ物の豊かさか」
 から作成

「環境・人への配慮」と企業活動への未来

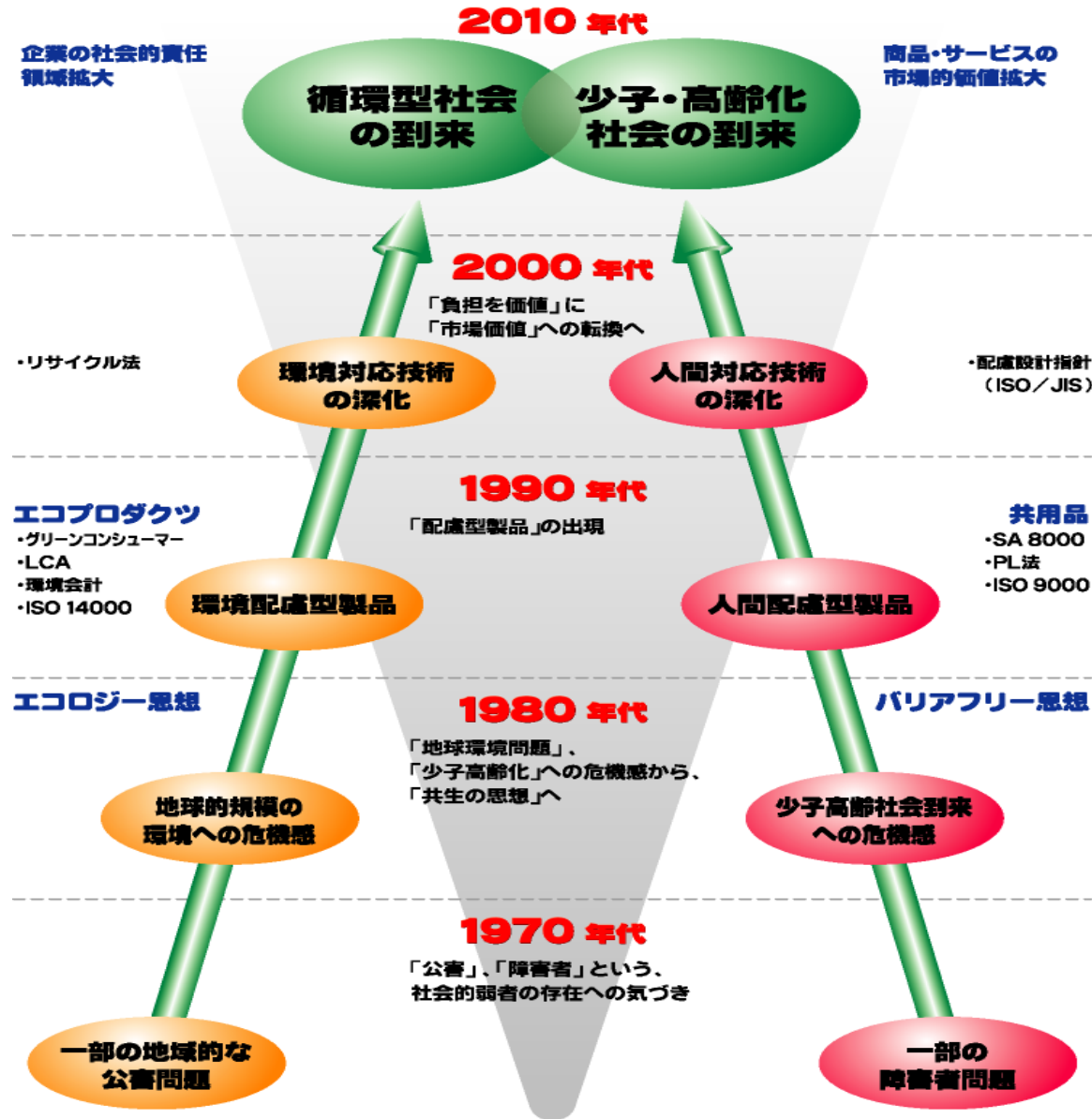


Environmental Risk vs Population Exposed to the Risks



中西準子著「水の環境戦略」(岩波新書)と同「環境リスク論」(岩波書店)から作成
arranged from Dr. Junko NAKANISHI's papers

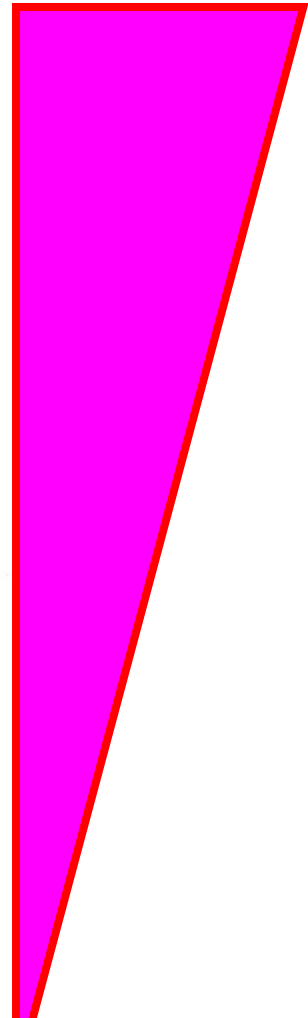
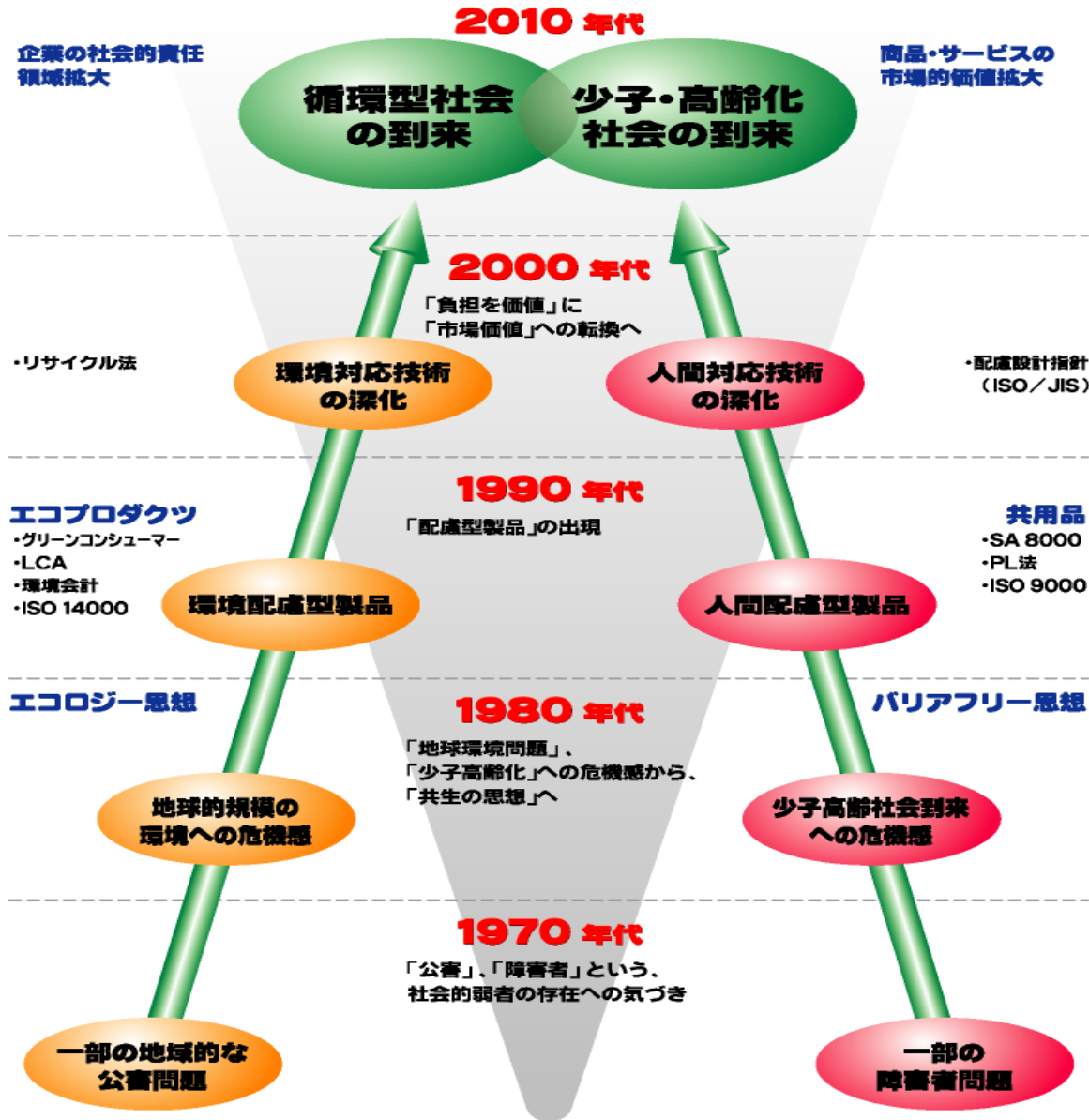
「環境・人への配慮」と企業活動への未来



(財)共用品推進機構
(1999年11月)

「環境・人への配慮」と企業活動への未来

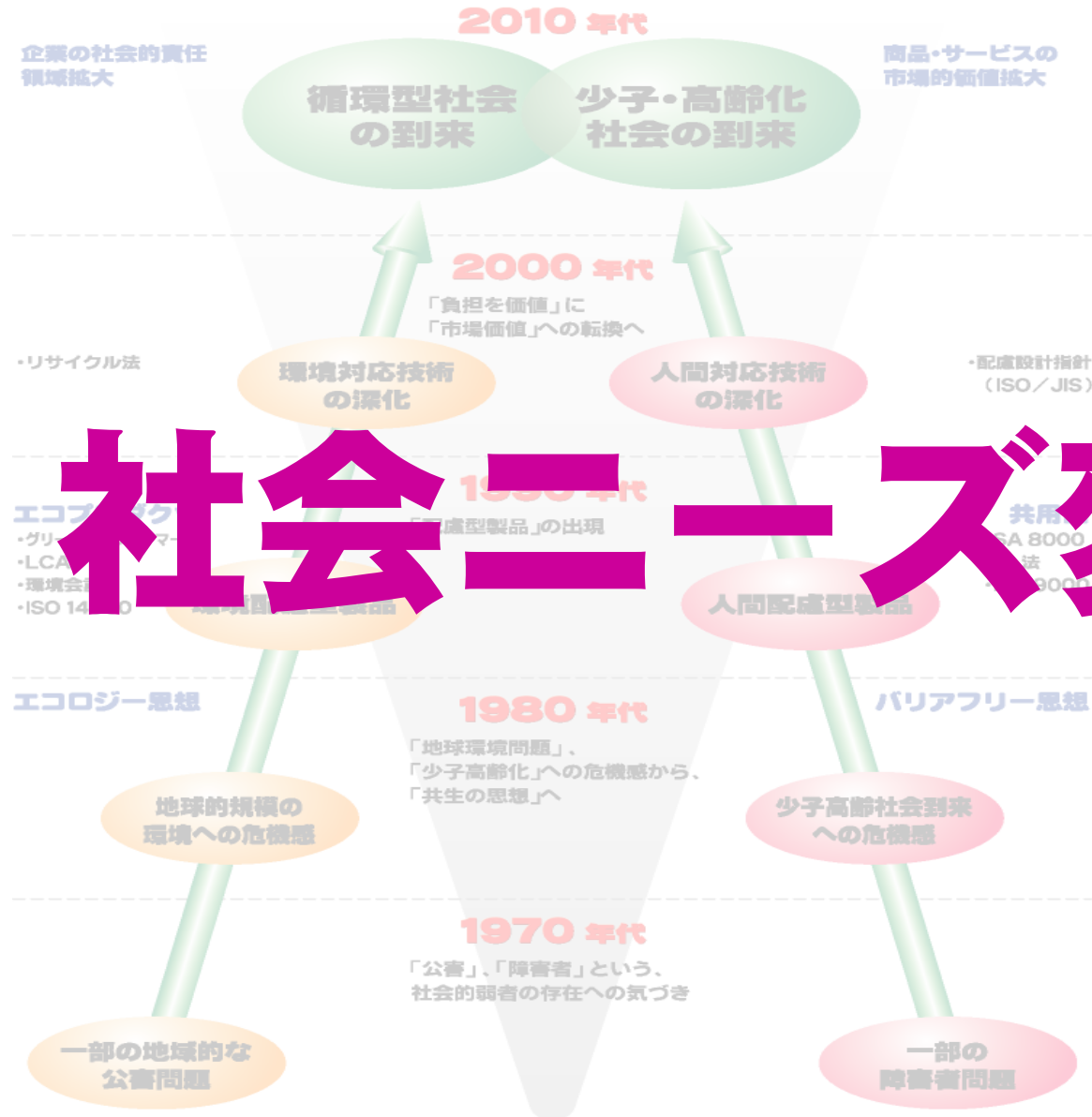
Impacts
on Bus.



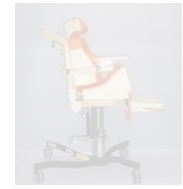
Kyoyo-Hin Foundation
(Nov. 1999)

「環境・人への配慮」と企業活動への未来

Impacts
on Bus.



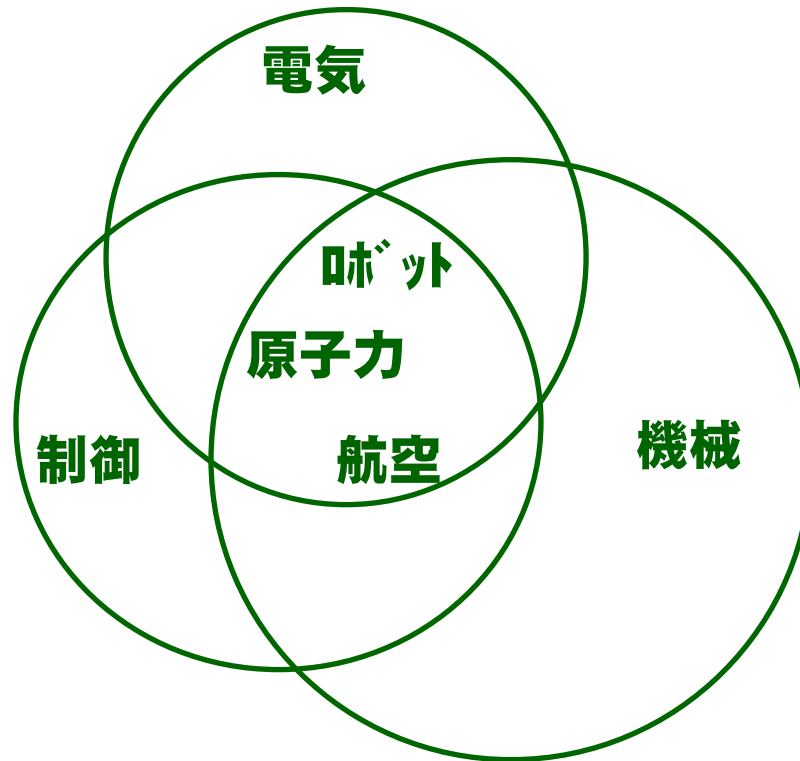
社会ニーズ変化



Kyoyo-Hin Foundation
(Nov. 1999)

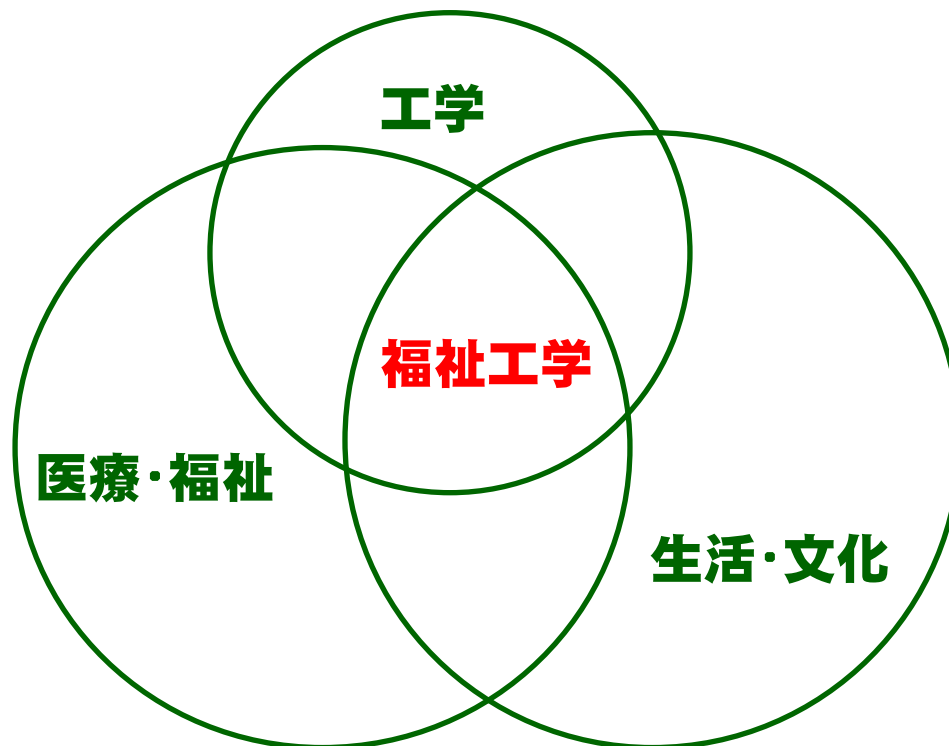
1. 工学分野相互間の境界領域の例

ロボット、航空、原子力といった分野は、機械、電気、制御などそれぞれが普遍性・再現性のある論理で構築された空間間の境界領域



2. 福祉工学の場合

福祉工学は、医療・福祉や生活といった個別性を特徴とし、再現性の確認が難しい分野と、100%の再現性を論理の根拠とする工学の間を橋渡しすることが求められ、単に関連分野を融合するだけでは、演繹に必要な普遍性が容易には得られない



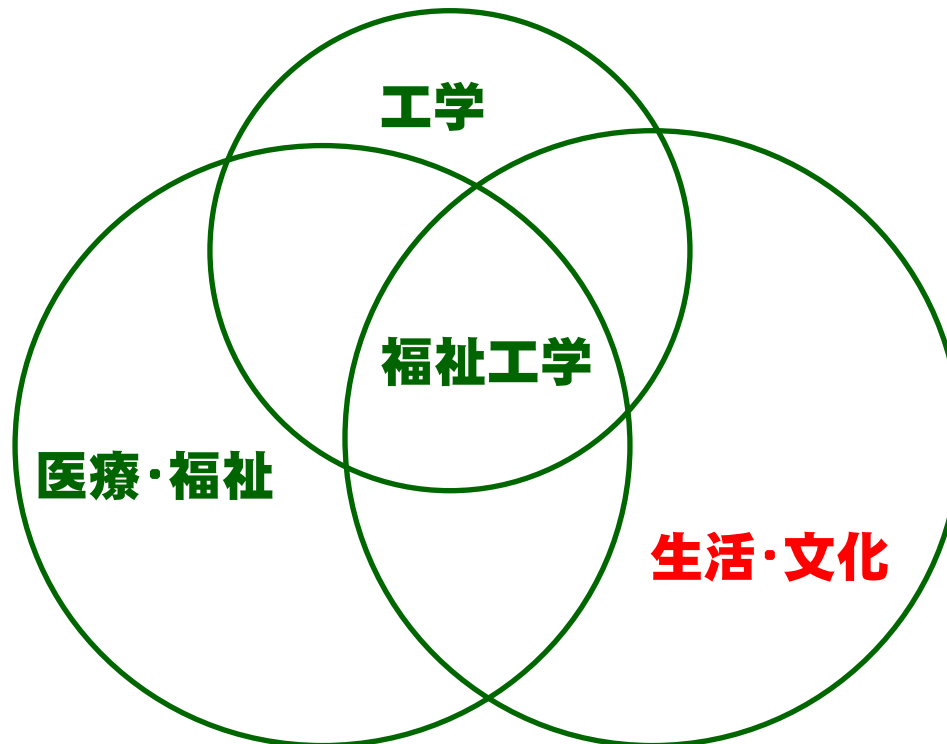
通商産業省 機械情報産業局

「福祉用具産業政策'98 ー共用品、知の共有、流通ほかー」

福祉用具産業懇談会 第3次中間報告(1998年5月)

2. 福祉工学の場合

福祉工学は、医療・福祉や生活といった個別性を特徴とし、再現性の確認が難しい分野と、100%の再現性を論理の根拠とする工学の間を橋渡しすることが求められ、単に関連分野を融合するだけでは、演繹に必要な普遍性が容易には得られない



通商産業省 機械情報産業局

「福祉用具産業政策'98 ー 共用品、知の共有、流通ほかー」

福祉用具産業懇談会 第3次中間報告(1998年5月)

「『R60世代』は年を取った若者」の法則

$$(70-60) > (60-30)$$

(注)

1. 70、60、30という数字は、年齢を示す。
2. 70歳は戦前生まれ、60歳は団塊世代、30歳は団塊ジュニア以下の若者たち。
3. 上の式は、
「団塊世代(60歳)のライフスタイルは、10歳上の
人たちより、若者たちのそれに近い」
ことを表す。

「オヤノコトエキスポ 2009」(2009.7.4-5) から

今年は、7.16-17 に開催
(@有楽町・国際フォーラム)



「新世紀型」産業政策の規範

	20世紀型(効率規準)	新世紀型(公正規準)
産業分野	鉄鋼、家電、自動車	情報、環境、高齢化対応
発展の原理	シーズ指向	ニーズ・プル
評価の基準	仕様、費用対効果	ニーズ適合性、文化性
競争力の源泉	技術・生産力、均一性	ニーズ統合、独創性
行動原理	差別化、効率、導入技術	内発満足、価値軸追加
経営目標	相対優位、シェア、利益額	普遍性、社会資源効率

後藤芳一「福祉用具産業政策の評価に関する研究」(2001. 1. 東京工業大学)から

福祉用具の利用者適合と市場規模（概念図）



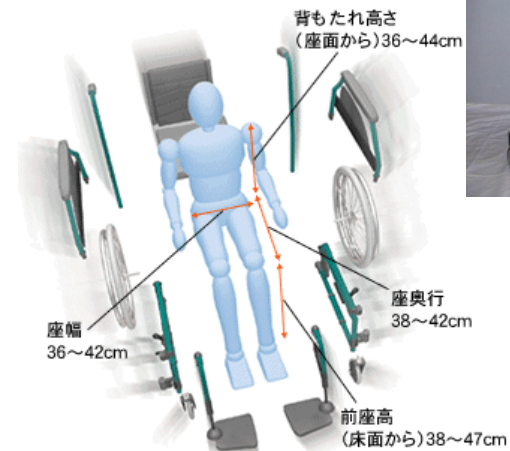
花王



トヨタ



シースター
コーポレーション



松下電工



ひげ工房

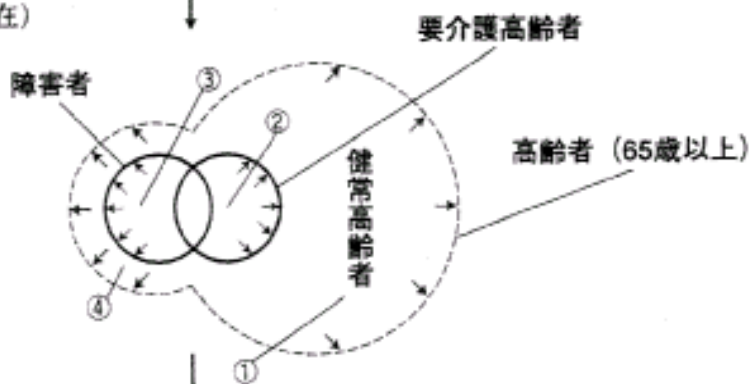
【図表1-2】福祉機器の利用者像の変化（イメージ）

(従来)



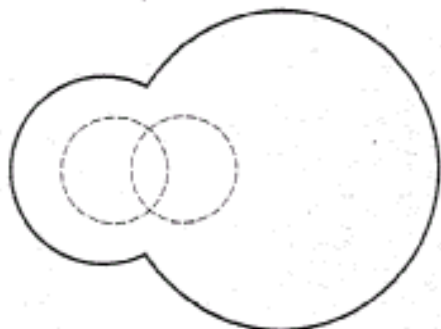
①～④の変化が起こりつつあり、特に
②と③の市場は急速に顕在化、①と④は関心高まる

(現在)



① 「福祉」や「福祉サービス」の概念が広がり、
福祉機器の範囲や用途が拡大

(今後)

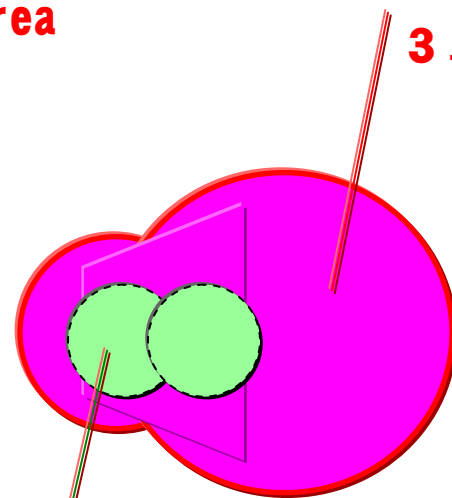


- ① 高齢化率の上昇による高齢者数（65歳以上）の増加
- ② ①による要介護高齢者数の増加
- ③ ②による障害者数の増加（②の一部は障害者）
- ④ 妊産婦等の一時的障害者や障害者の自立・社会参加用の機器

7.0 %/yr (2003-2008FY)

Peripheral (=Growing) Area

3.3 兆円



1.2 兆円

後藤芳一「福祉用具産業政策の評価に関する研究」(平成12年度、東京工業大学)⁶⁸から

ポイント

1. はじめに
2. 実践編
3. 政策・理論編
4. 思想編
5. まとめ

3. 共用品・共用サービスを創る

1. 気づく

2. 動く

3. 形にする

4. 共有する

5. 続ける

「気づき」 → 「行動」の4段階

- 課題に気づき声をあげる
(第1段階)
- 原因を指摘
(第2段階)
- 対案を提示 (実現性?)
(第3段階)
- 実現性ある対案
(社会制度、財源) (第4段階)

3. 共用品・共用サービスを創る

1. 気づく

2. 動く

3. 形にする

4. 共有する

5. 続ける

「動く」：動機の側面から

- **普及初期段階：**
外的情報不足、手順未確立
→個人の内的作用、個性を反映
- **普及後の段階：**
標準手法確立、選択肢提供される
→選択と判断
- **社会規範化後：**
基本動作化（例：マナー）
→無意識

3. 共用品・共用サービスを創る

1. 気づく

2. 動く

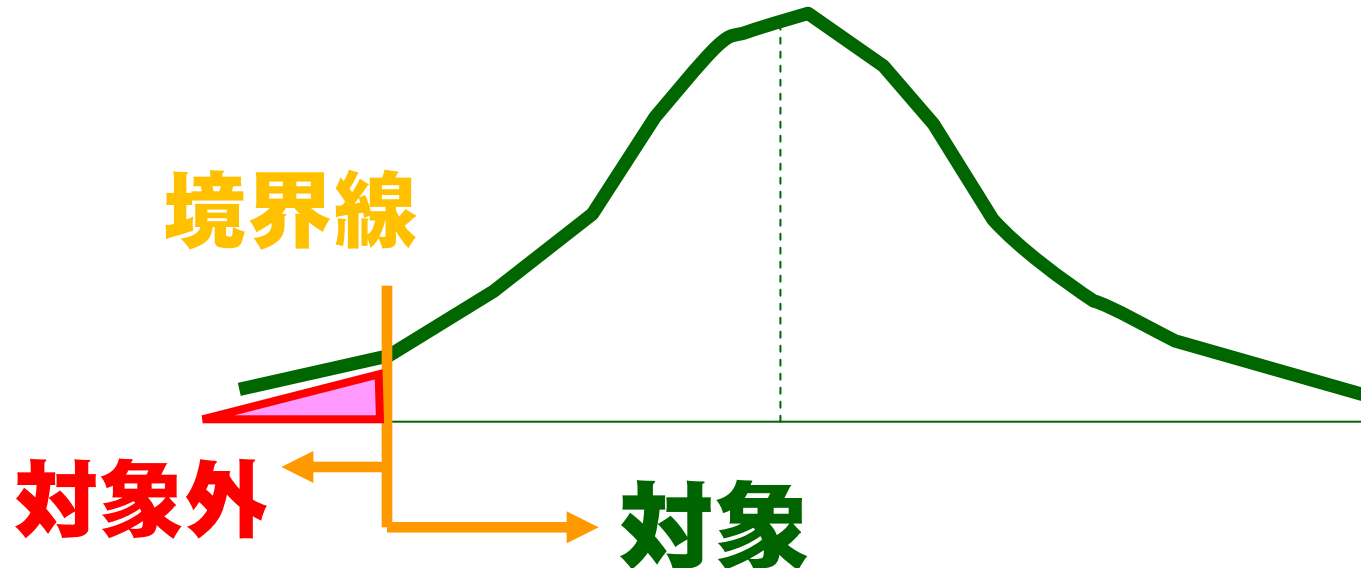
3. 形にする

4. 共有する

5. 続ける

「形にする」その1

- ・「工業デザイン」職能をめぐって：
工業→効率
→「境界線」引く作業
＝「対応しない領域」作る



「形にする」その2

- ・「総合」の職能をめぐって：
“アンド (and) ” がかった要請
「A and B and C and …」
(例：機能、使いやすさ、価格、販路…)

経営・社会と調和、持続性

×：一箇所だけ100点

○：全体を見たトレードオフ
見えない多くの要素に目配り

3. 共用品・共用サービスを創る

1. 気づく

2. 動く

3. 形にする

4. 共有する

5. 続ける

「共有する」 必要な条件

1. 真の受け手指向

悪しき現場主義

2. 調整コストを厭わない

多くの要素が普遍性磨く

→知と経験リレーする一員に

3. 自己表現？

標準化＝作者名×→リトマス紙

4. 中心的な推進機関

5. (国際・工業) 標準化

3. 共用品・共用サービスを創る

1. 気づく

2. 動く

3. 形にする

4. 共有する

5. 続ける

「続ける」ための鍵は その1

1. 組織（企業）の利害との間合い
経済原理（狭義）と相反
→折合いつけて持続
2. 変え続ける
×形を満たして「対処済み」
○合格ライン超えても変化持続
3. リーダーシップ
×カリスマ、個人と運動の一体化
○理念、路線、普遍（＝長期、持続）

「続ける」ための鍵は その2

4. 組織（企業）動かす路線・運動

X型：声上げる

Y型：企業動かす論理に翻訳

5. 構成員の意識

「最初に気づいた」…遅早の問題

×専門家、当局への もたれかかり

○自ら「解き切る」覚悟と責任感

6. 中心組織の運営方法

7. 自らが進歩続ける

ポイント

1. はじめに
2. 実践編
3. 政策・理論編
4. 思想編
5. まとめ

未来（来世紀）への課題 その1

1. 進化どこまで持続

現在：送り手意識が追いついた

今後：無意識に、でも感度はon

2. 修正（運動）→「どうあるべきか」

既存条件制約下→主体的に構想

3. 文明・社会発展による課題の解法

例：環境、貧困、格差、尊厳

熟度↑で新課題→先哲及ばぬ領域

→自ら・独自方法で、同時代に解く

未来（来世紀）への課題 その2

4. 取り組む人を変える

無意識下へ→社会課題へも寄与
モノ（即物的）→人を変える

5. 普遍性

課題に境界線動かしつつ対応
モノ自身のもつ力を活かす
ひっかかる（非専門家）
→役割持てる

声上げえぬ分野に社会の力集める

次代に伝えたいこと

1. 共用品への取組み、今後の意義

2. 共用品を超える部分

「不便さ」は判断が加わった後

起点は“違和感（ひっかかり）”

[出口＝共用品] ←必然でない

対象（共用品）＜過程

「共用品」離れての価値はどうか

→持続社会への規範を追加

＝共用品の「思想」性

参考文献

後藤芳一・星川安之著 [2011] 『共用品という思想 デザインの標準化をめざして』 岩波書店

E&Cプロジェクト原案、永原達也文、大中美智子絵 [1993] 『朝子さん的一天』 日本児童教育振興財団・小学館

E&Cプロジェクト編 [1994] 『「バリアフリー」の商品開発』 日本経済新聞社

E&Cプロジェクト編 [1996] 『バリアフリーの商品開発2』 日本経済新聞社

E&Cプロジェクト編 [1997] 『バリアフリーの生活カタログ』 小学館

E&Cプロジェクト編 [1999] 『バリアフリーの店と接客』 日本経済新聞社

星川安之 [2000～] 「事務局長だより」 共用品推進機構機関誌『インクル』

財団法人 共用品推進機構編著 [2001] 『バリアフリーと広告』 電通

財団法人 共用品推進機構編著 [2002] 『「共用品ビジネス」を進めるための本』 日刊工業新聞社

財団法人 共用品推進機構編著 [2003] 『共用品白書』 ぎょうせい

星川安之 [2003～] 「共用品の周辺」 『シルバー産業新聞』

星川安之 [2009～] 「より多くの人が使えモノ・サービス」 『福祉介護機器テクノプラス』 日本工業出版

星川安之・佐川賢 [2007] 『より多くの人使いやすいアクセシブルデザイン入門』 日本規格協会

日本規格協会 [2010] 『JISハンドブック38 高齢者・障害者等 [アクセシブルデザイン]』 (2010年版)

日本規格協会

斎藤正男／通商産業省医療・福祉機器産業室監修 [1995,96,97] 『福祉用具の明日を拓くⅠ～Ⅲ』

環境新聞社

通商産業省機械情報産業局編 [1997] 『福祉用具産業政策の基本的方向(福祉用具産業懇談会

第2次中間報告)』 通商産業調査会

通商産業省機械情報産業局編 [1998] 『福祉用具産業政策'98(福祉用具産業懇談会第3次中間報告)』

通商産業調査会後藤芳一著、通商産業省医療・福祉機器産業室編 [1997] 『離陸する福祉機器ビジネス』

日本経済新聞社

後藤芳一編著、足立芳寛監修 [1998] 『バリアフリーのための福祉技術入門』 オーム社

後藤芳一 [1999～] 「キーワードで考える共用品講座」 共用品推進機構機関誌『インクル』

後藤芳一 [1999～] コラム「遠望」 『シルバー産業新聞』

後藤芳一 [2001] 『福祉用具産業政策の評価に関する研究』 (東京工業大学、博士論文)

■後藤 芳一(ごとうよしかず) 大阪大学 大学院 工学研究科 教授 産学連携本部 副本部長

◆昭30 大阪府出身／東工大・機械(修士)／昭55通商産業省入省／

平7 同 医療・福祉機器産業室長(初代)／平15 同 標準課長／平16 同 中小企業庁 技術課長／
平20 同 製造産業局 次長／平22 同 大臣官房審議官(製造産業局担当)／平22 現職

◆中小企業診断士(商業)／博士(工学)／日本生活支援工学会(副会長・理事・学会誌編集委員長)／
科学技術振興機構「JST研究成果展開事業【戦略的イノベーション創出推進プログラム(Sイノベ)】

『高齢社会を豊かにする科学・技術・システムの創成』プログラム・オフィサー(PO)補佐」／
日本福祉大学 客員教授(「バリアフリー社会と新産業創出」「医療福祉ビジネス」担当)／

早稲田大学 客員教授／電気通信大学 客員教授／東京大学 非常勤講師 ほか

◆著書:「離陸する福祉機器ビジネス」(日本経済新聞社、平9)／「バリアフリーのための福祉技術
入門」(オーム社、編著、平10)／「福祉用具の流通ビジネス」(同友館、平10)／「福祉用具産業
政策の評価に関する研究」(平10、東京工大(博士論文))／「共用品白書」(ぎょうせい、共著、
平15)／「共用品という思想」(岩波書店、共著、平23)ほか

■星川安之(ほしかわやすゆき) 財団法人 共用品推進機構 専務理事・事務局長

◆昭32 東京都出身／自由学園最高学部卒／昭55トミー工業株式会社(現タカラトミー)入社)／
昭和55年9月 HT研究室新設 配属／平2 日本玩具協会 小さな凸実行委員会 事務局次長／
平3 E&Cプロジェクト事務局長／平11 財団法人 共用品推進機構(新設)専務理事・事務局長

◆ISO/IECガイド71委員 1999年～2001年、2011年～、(福)日本点字図書館 評議員 2002年～
(財)日本規格協会 評議員 2010年～、(株)タカラトミー 社長室付 (部長)

◆著書:バリアフリーの商品開発1・2(日本経済新聞社)共著、バリアフリーの店と接客(日本経済新聞
社)共著、バリアフリーの生活カタログ(小学館)共著、バリアフリーと広告(電通)共著、共用品
白書 99・2000・2001(財団法人 共用品推進機構)共著、共用品白書2003(ぎょうせい)
共著、ISO/IECガイド71 徹底活用法(日本経済新聞社)共著、『CSR経営 企業の社会的
責任とステイクホルダー』中央経済社共著、アクセシブルデザイン入門 日本規格協会、超高
齢社会の福祉居住環境 共著 中央法規、人間工学とユニバーサルデザイン 2008 共著
日本工業出版、共用品という思想 2011 共著 岩波書店

共用品という思想

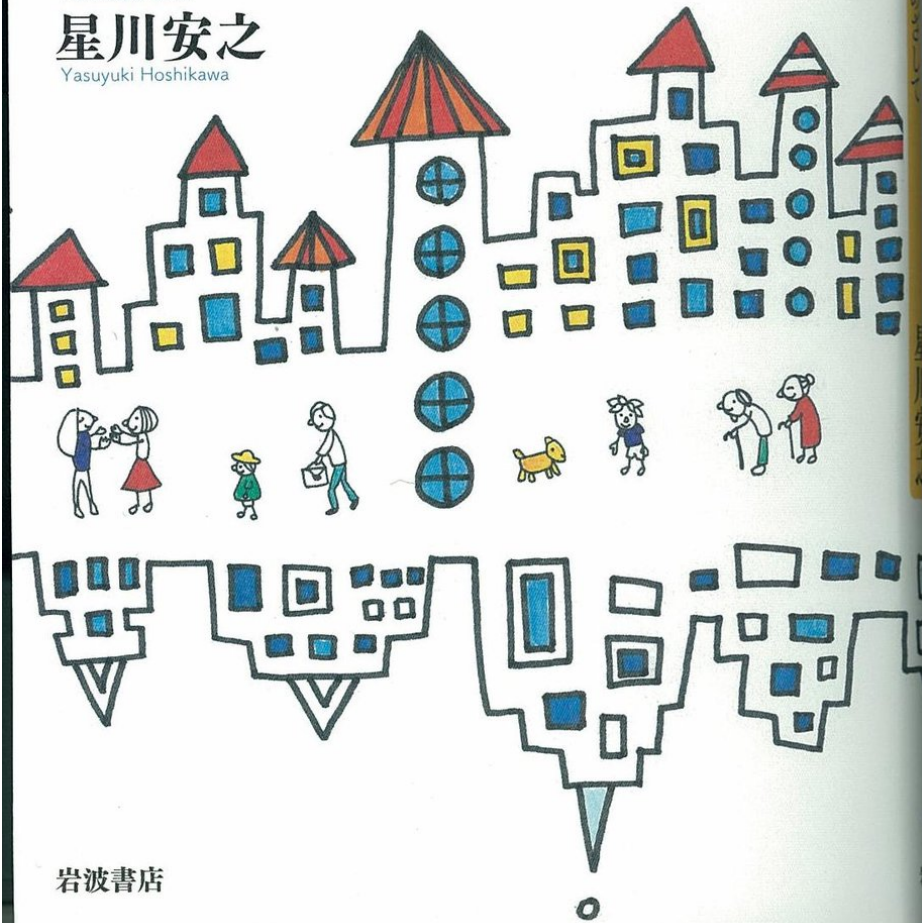
デザインの標準化をめざして

後藤芳一

Yoshikazu Goto

星川安之

Yasuyuki Hoshikawa



「共用品」って何？ シャンプー容器側面のギザギザ，牛乳パックのてっぺんのへこみ。え，それが共用品？ そう，それが共用品。より多くの人に，より使いやすく進化し続けている日本発のバリアフリーのアイデアの数々。そして，それを支えているのが日本の企業の企画開発力。デザインの力が住みよい町をつくる。ものづくりニッポンの底力！

- 岩波書店
- 体裁＝四六判・上製・214頁
- 定価 2,300円 + 税
- 2011年1月28日
- ISBN978-4-00-022578-6 C0036

岩波書店

大阪大学大学院 工学研究科

教授. 後藤 芳一

VYP02343@nifty.ne.jp

財団法人 共用品推進機構

専務理事 星川安之

FZG01477@nifty.ne.jp